

政令指定都市

にいがたの人の動き

新潟市内都市交通特性調査の結果 [付帯調査編]



- 本調査は、新潟市内における人の動きやその時の交通手段など、移動の実態把握に関する基礎資料を得るために実施したものです。
- 新潟都市圏を対象にした調査結果（平成14年）もありますが、合併後、政令市移行後の全市的な移動実態を把握する必要があり実施に至ったものです。
- 調査の結果は「特性調査編」として、移動回数や外出率のほか、移動の際の目的、交通手段、区ごと、地域内や地域間などから見た人の動きに着目して集計しています。
- また、3つの意識調査を併せ実施しており、これらは「付帯調査編」として、公共交通の満足度やニーズ、高齢者の移動実態、交通環境に関する意向などについて把握しています。

平成24年3月

新潟市 都市交通政策課

— 調査概要 —

目的

平成の大合併や政令指定都市への移行を踏まえ、本市の人の動きや交通手段を明らかにし、今後の具体的な交通施策を検討する際の基礎資料を得るため、全市的な実態調査を実施しました。

調査内容

調査名称 交通政策に関する意識調査（平成 23 年 10 月）
 高齢社会における交通政策に関する意識調査（平成 24 年 1 月）
 交通環境に関する意識調査（平成 24 年 1 月）

調査範囲 新潟市全域

調査対象 住民基本台帳から無作為抽出された市民

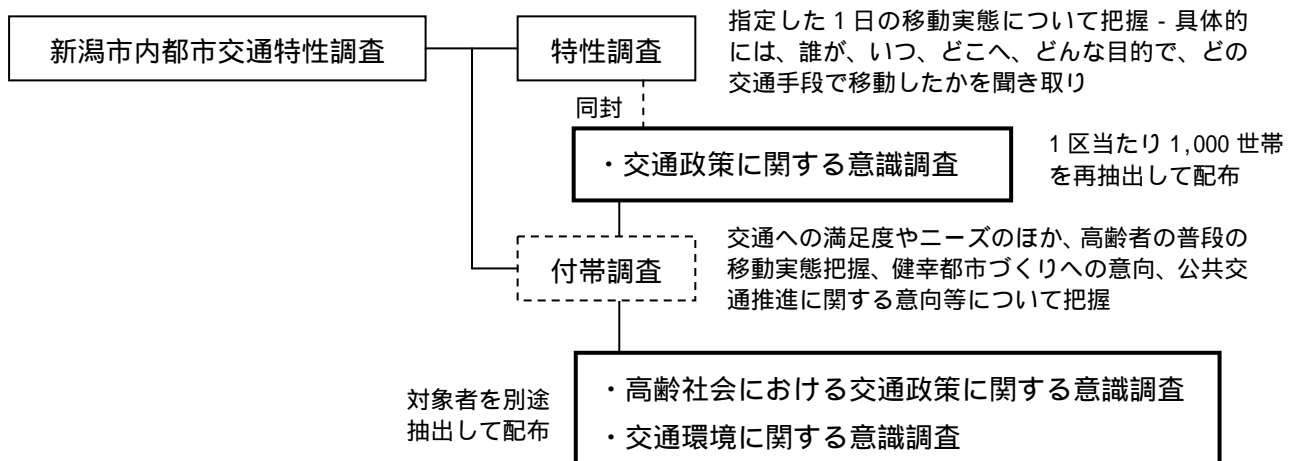
実施方法 郵送による配布、回収

抽出方法及び回収結果

抽出方法	適用年月	対象人口	対象個人数	回収個人数	回収率
5 歳以上世帯の該当者	H23.8 末	771,649 人	8,000 人	2,013 人	25.16%
65 歳以上	H23.12 末	188,807 人	3,000 人	1,826 人	60.87%
15 歳以上		701,099 人	3,500 人	1,513 人	43.23%

の調査は、特性調査対象の 27,900 世帯のうち、1 区当たり 1,000 世帯(人)を再抽出し、その世帯の該当者に回答を依頼している。

(参考)



目次

1	交通政策に関する意識調査	1
1)	調査結果概要	1
2)	都心部方面への鉄道やバスについて	1
①	回答者の属性	1
3)	都心部に出かけるときに利用可能な鉄道やバスについて	4
①	鉄道の満足度	4
②	鉄道に特に改善を望む項目	8
③	バスの満足度	10
④	バスに特に改善を望む項目	15
4)	区内のバス移動について	17
①	回答者の属性	17
5)	区内のバス交通について	19
①	区内のバス交通の満足度	19
②	区内のバス交通に特に改善を望む項目	23
2	高齢社会における交通政策に関する意識調査	25
1)	調査結果概要	25
2)	回答者の属性	25
3)	普段の外出行動について	28
①	1年を通じた外出の有無	28
②	目的別の外出頻度	28
③	外出時の同行者	29
④	外出時の主な移動手段	29
⑤	移動手段の選択理由	30
A)	大きな病院（市民病院など）への外出	30
B)	かかりつけの医院・診療所への外出	30
C)	食料品や日用品などの買い物	31
D)	衣類、電化製品、寝具などの買い物	31
E)	親戚や友人宅への訪問や介護などへの外出	32
F)	町内会・老人会の活動やボランティア活動のための外出	32
G)	趣味や習い事、食事、娯楽などのための外出	33
H)	仕事のための外出	33
I)	家族の送迎などの外出	34
⑥	主な行き先	34
4)	自家用車のご利用について	35
①	運転の頻度	35
②	運転する理由	35
③	免許返納サポート事業の認知度	35
④	今後の運転に関する意向	36
5)	交通政策に関する意向について	36
①	今後の高齢社会における交通政策として重要だと思うこと	36

3 交通環境に関する意識調査37

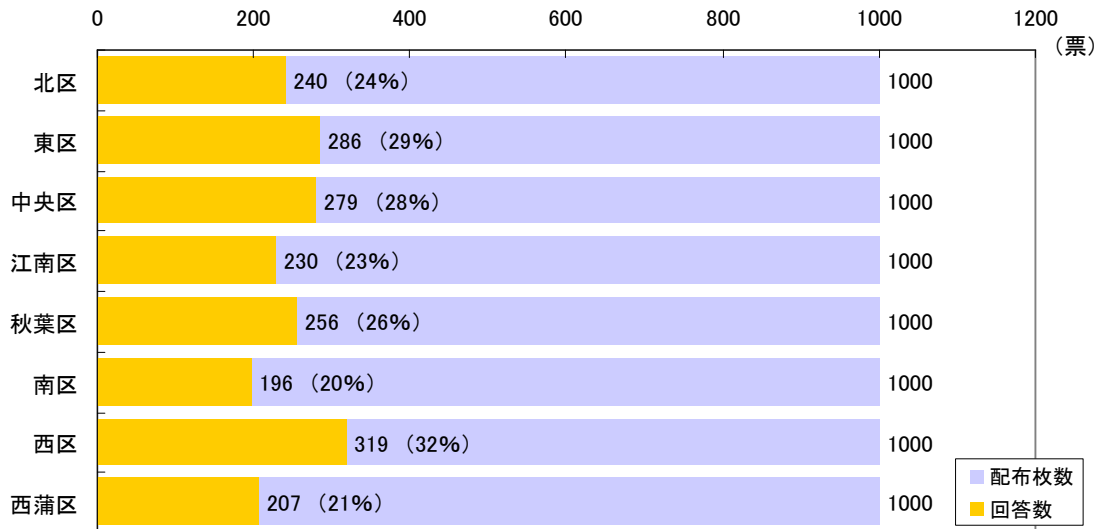
1)	調査結果概要.....	37
2)	回答者の属性.....	37
3)	健幸都市づくりについて.....	40
①	『健康に良い移動』を心掛けた徒歩や自転車、公共交通の利用意向.....	40
②	健幸都市を実現するためにまちづくりとして取り組むべき項目.....	40
4)	普段の買い物行動について.....	41
①	食料品など日常の買い物をする場合の頻度.....	41
②	食料品など日常の買い物をする場合の主な移動手段.....	41
③	衣類、電化製品、寝具などの買い物をする場合の頻度.....	42
④	衣類、電化製品、寝具などの買い物をする場合の「主な移動手段」.....	42
5)	公共交通の推進に関する意向について.....	43
①	公共交通の維持・サービス水準（利便性）向上への意向.....	43
②	公共交通維持・サービス向上に向けた公共交通の利用意向.....	43
6)	新たな交通システムの導入について.....	44
①	『新たな交通システム』の認知度.....	44
②	新たな交通システムに求める項目.....	44

1 交通政策に関する意識調査

1) 調査結果概要

① 配布枚数・回収率

- ・本調査は特性調査対象世帯のうち、1区当たり1,000世帯を対象に(8,000票)配布し、回収率は全体で25.2%(2,013票)であった。

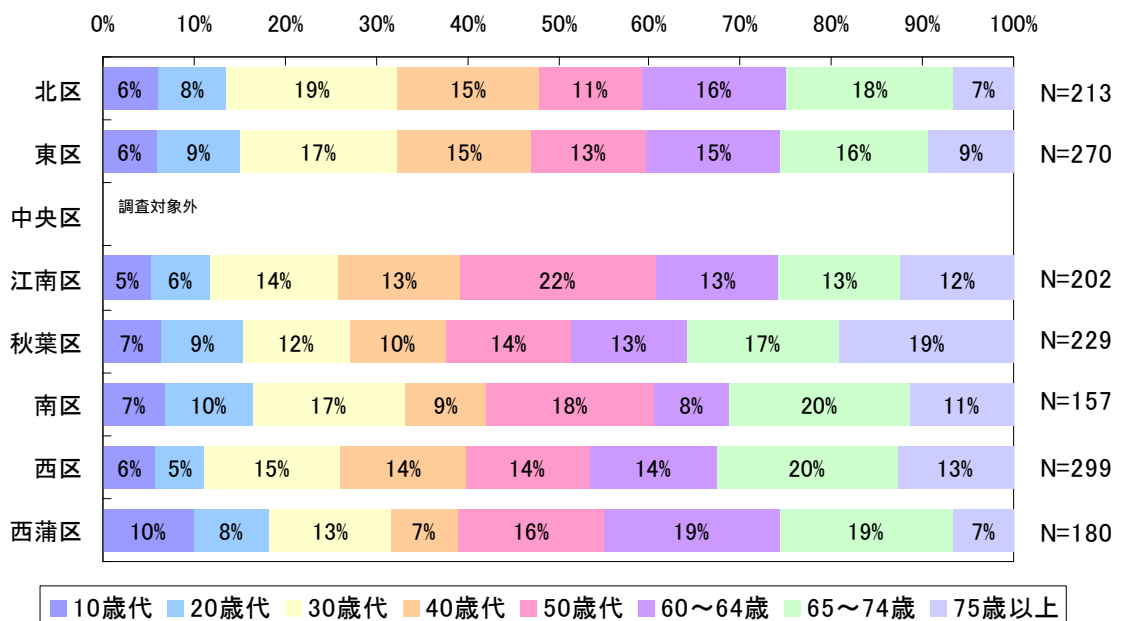


2) 都心部方面への鉄道やバスについて

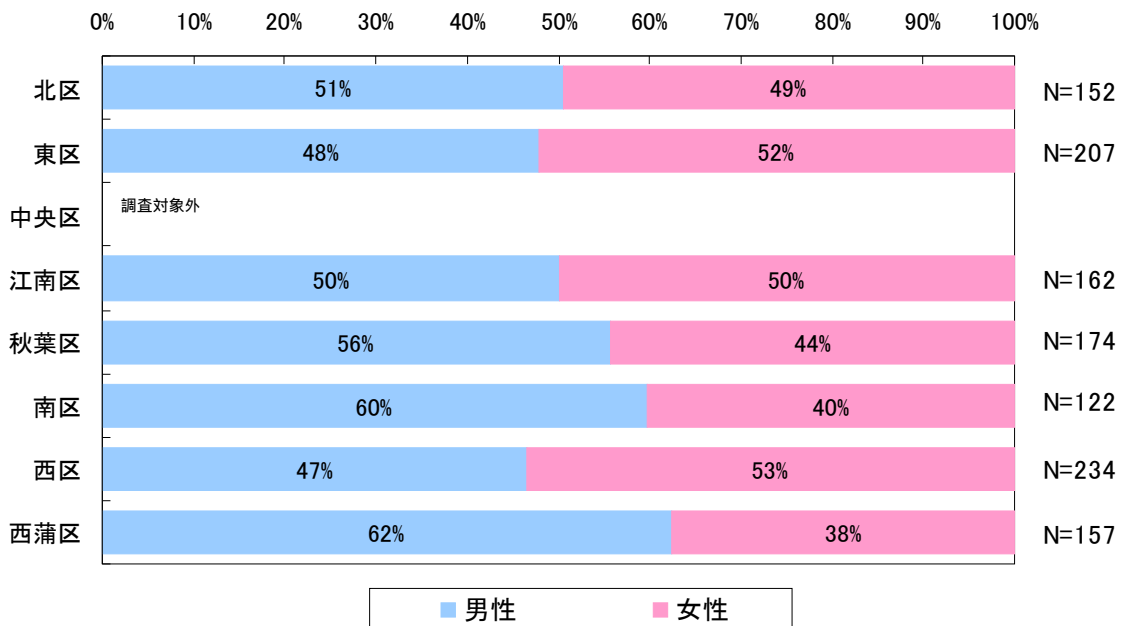
① 回答者の属性

A) 年齢・性別

- ・年齢別で見ると秋葉区、南区、西区では、65歳以上の回答者の割合が他の区に比べて多く、30%以上となった。

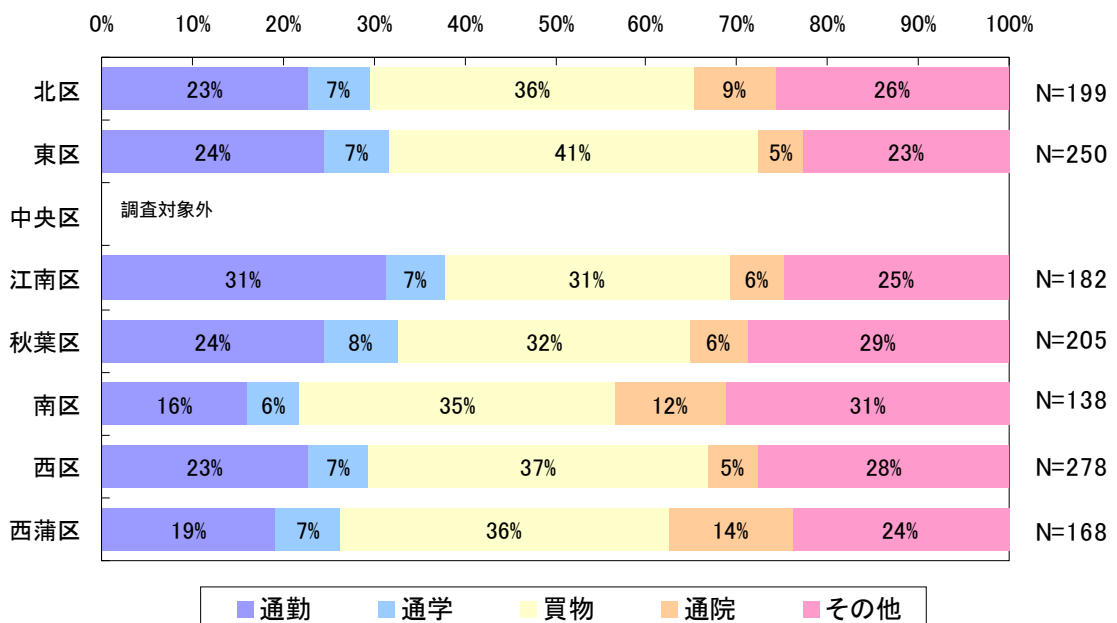


- ・性別で見ると、南区、西蒲区で男性の割合が60%程度と多くなっているが、概ね半数ずつとなっている。



B) 出かける際の主な目的

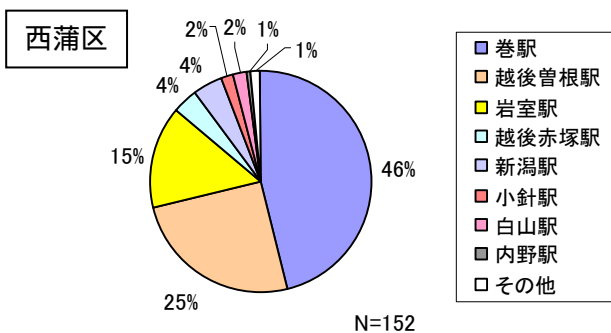
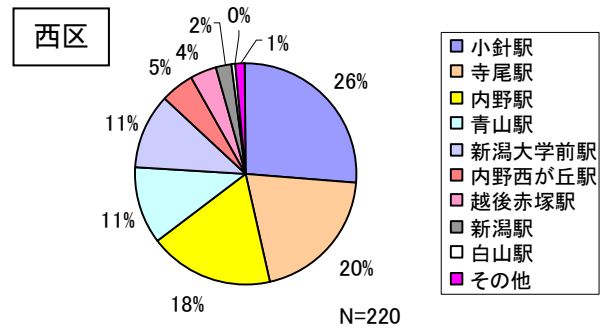
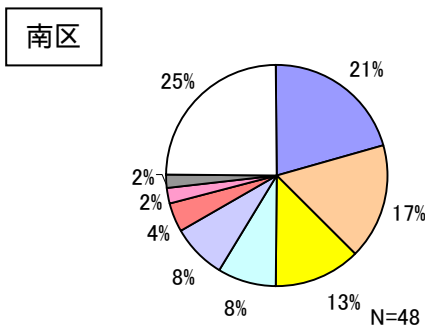
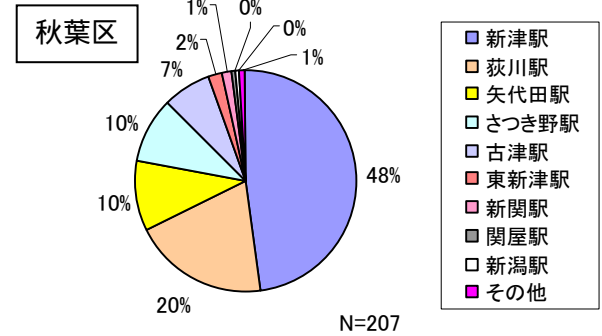
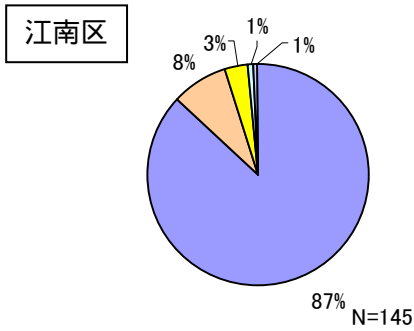
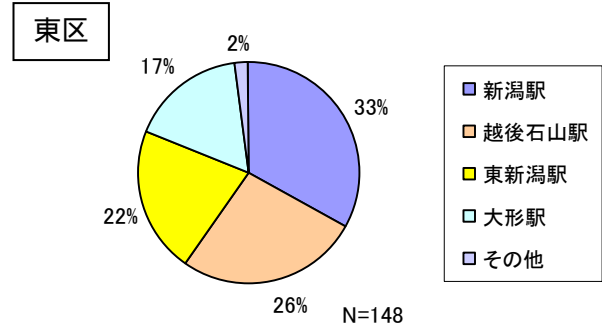
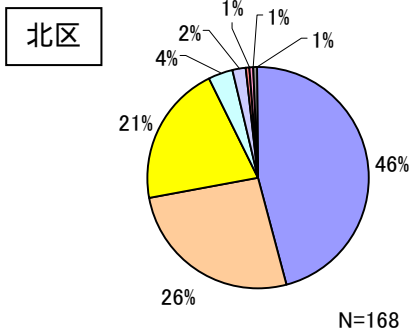
- ・主な目的について、いずれの区でも「買物」が多くなっており、30~40%を占めている。次いで「通勤」となっている。



C) 利用可能な最寄駅

・都心部へ行くのに利用可能な最寄駅について、区別に見てみると以下のとおりとなった。

北 区：豊栄駅（46%） 東 区：新潟駅（33%） 江南区：亀田駅（87%） 秋葉区：新津駅（48%）
南 区：矢代田駅（21%） 西 区：小針駅（26%） 西蒲区：巻駅（46%）

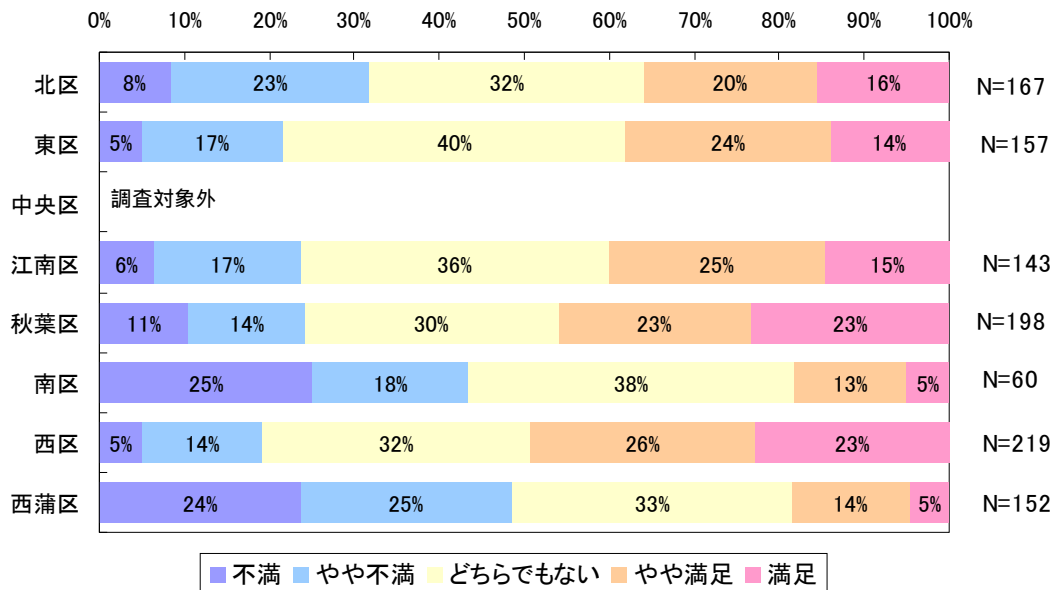


3) 都心部に出かけるときに利用可能な鉄道やバスについて

① 鉄道の満足度

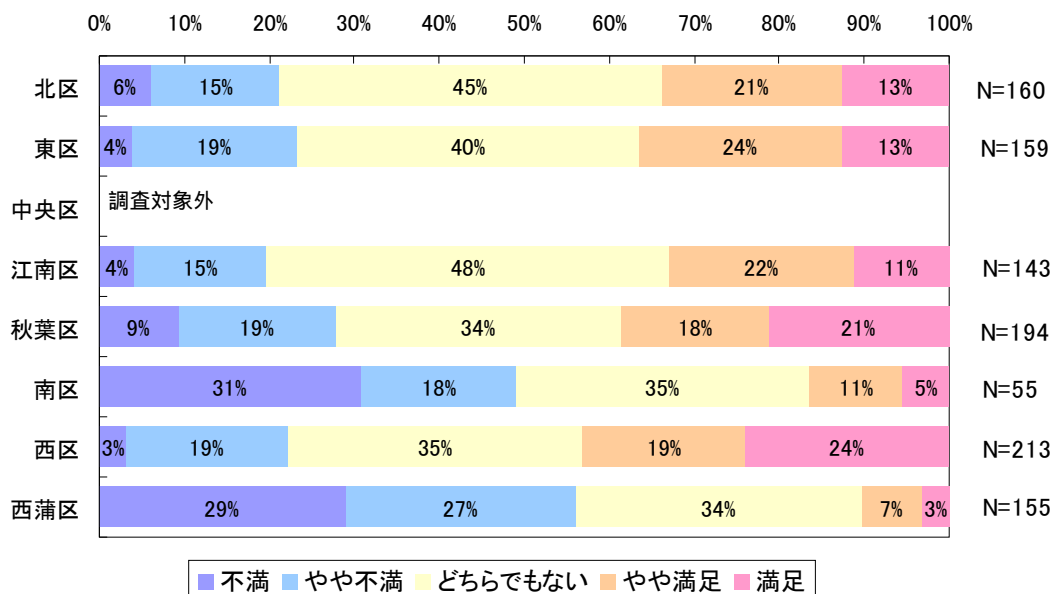
A) 朝夕の運行頻度

- ・ 鉄道の朝夕の運行頻度について、南区、西蒲区で「不満・やや不満」と回答した割合が多く、40%以上となっている。
- ・ 一方、他の区では「不満・やや不満」よりも「満足・やや満足」と回答した割合の方が多く、40%前後となっている。特に西区では約50%となっている。



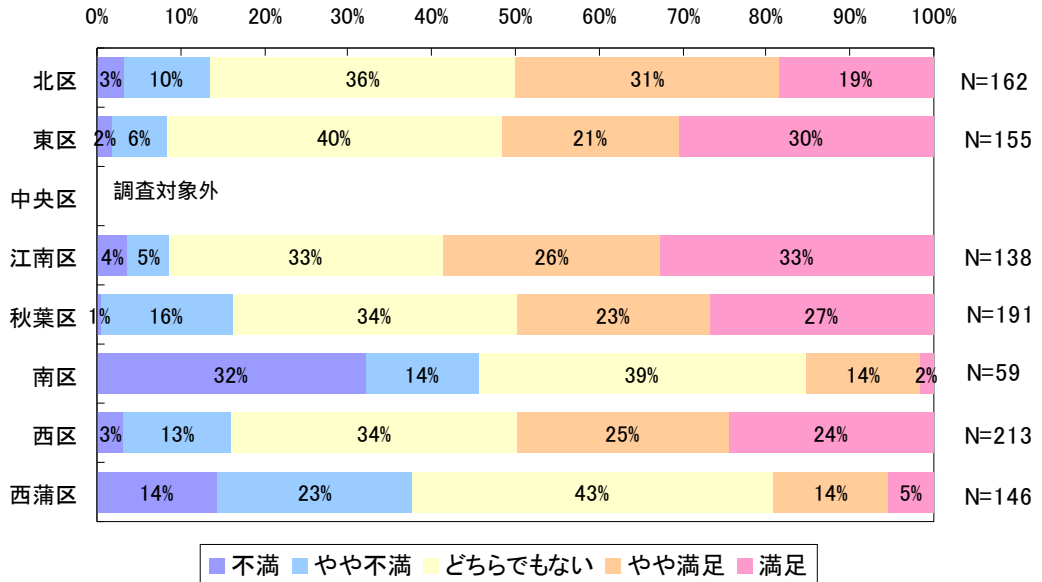
B) 日中の運行頻度

- ・ 鉄道の日中の運行頻度について、南区、西蒲区で「不満・やや不満」と回答した割合が多くなっており、西区では「満足・やや満足」と回答している割合の方が多い。



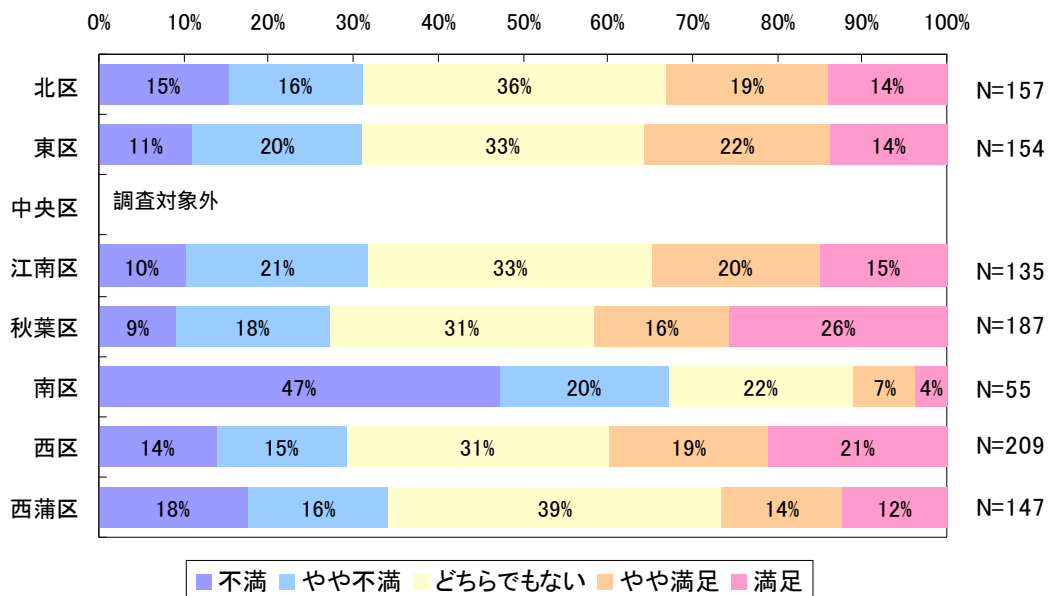
C) 都心部までの所要時間

- ・ 鉄道の都心部までの所要時間について、南区、西蒲区では「不満・やや不満」と回答した割合が多く、40%程度となっている。
- ・ 一方、他の区では「満足・やや満足」と回答した割合の方が多く半数程度となっている。



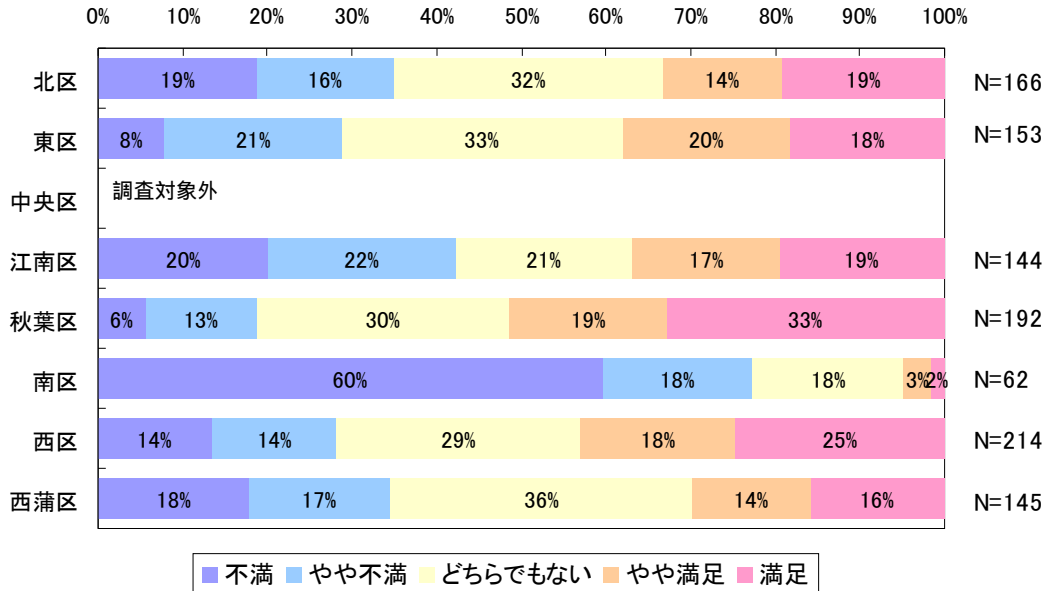
D) 最終便の時刻

- ・ 鉄道の最終便の時刻について、南区では「不満・やや不満」と回答した割合が特に多く、他の区が30%程度であるのに対し70%近くになっている。



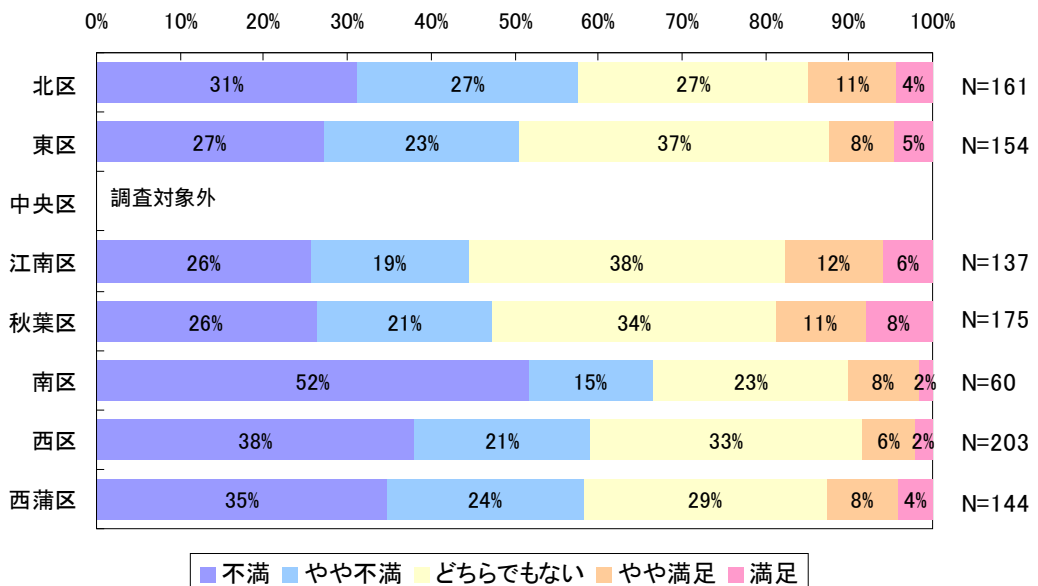
E) 自宅から最寄駅までの所要時間

- ・ 鉄道の自宅から最寄り駅までの所要時間について、区内に鉄道駅を持たない南区で「不満・やや不満」と回答した割合が特に多く、約80%となっている。
- ・ 一方、秋葉区では「満足・やや満足」と回答した割合が50%以上となっている。



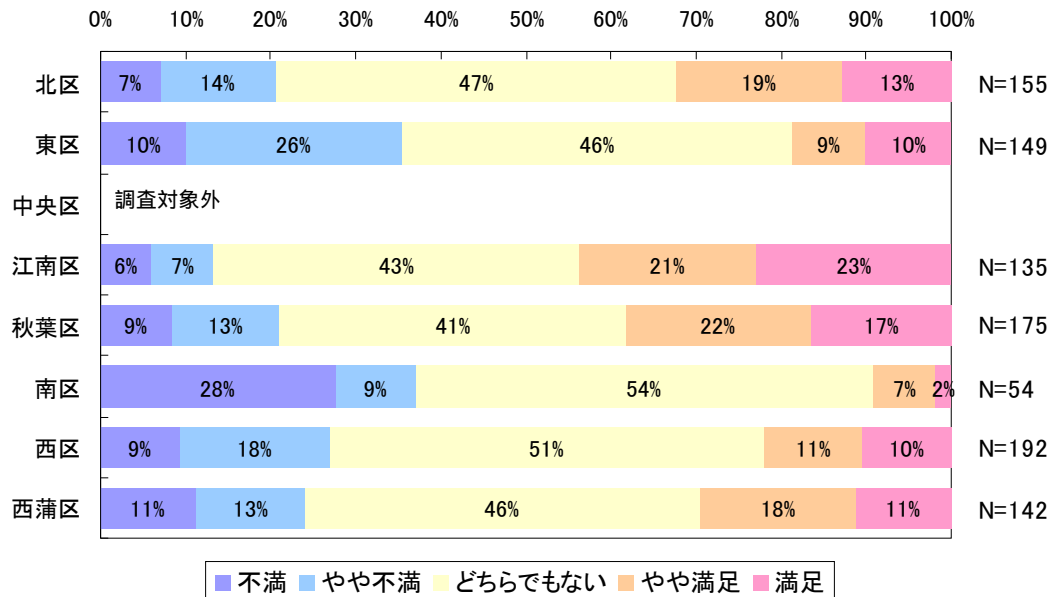
F) 駅周辺の駐車場

- ・ 鉄道駅周辺の駐車場について、いずれの区でも「不満・やや不満」と回答した割合が半数程度となっている。



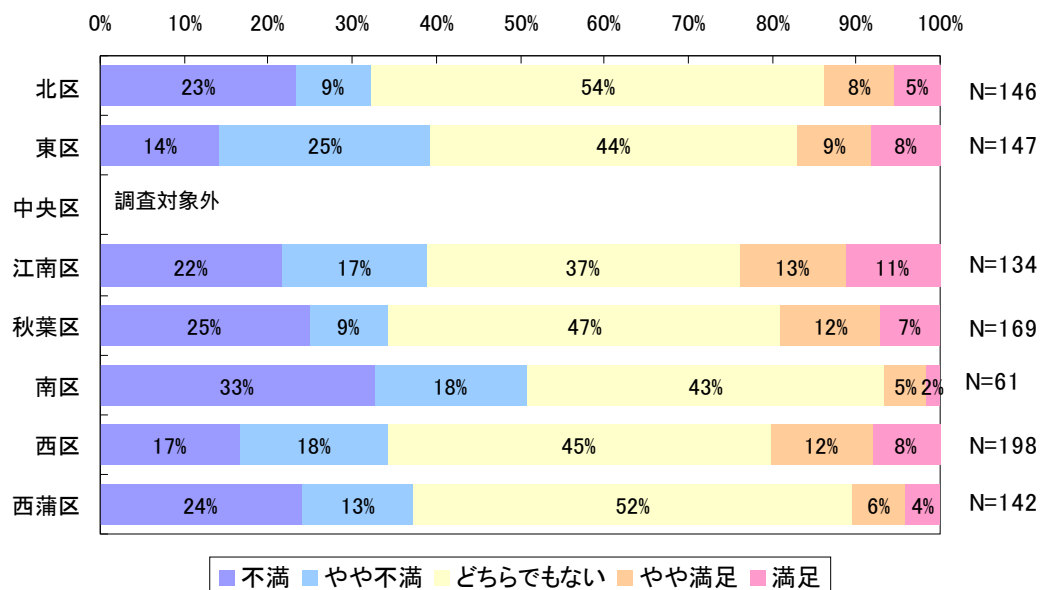
G) 駅周辺の駐輪場

- ・ 鉄道駅周辺の駐輪場整備について、南区、東区で「不満・やや不満」と回答した割合が約 40%となっており、「満足・やや満足」と回答した割合も他の区に比べて少なくなっている。
- ・ 一方、江南区では「満足・やや満足」と回答した割合が 40%以上と、他の区に比べて最も多くなっており、「不満・やや不満」と回答した割合が 10%以下となっている。



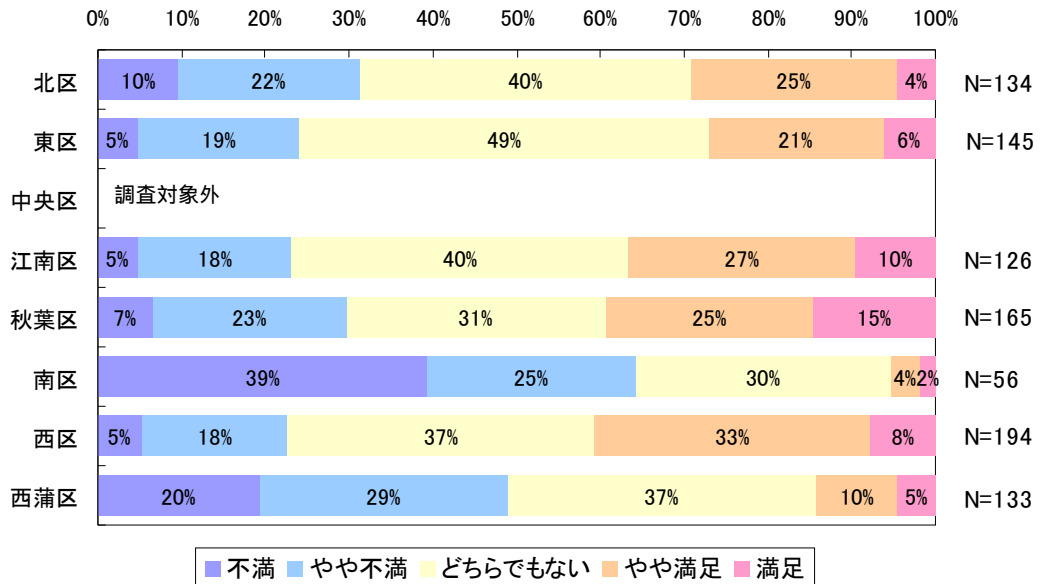
H) バスとの乗換のし易さ

- ・ 鉄道とバスとの乗り換えのし易さについて、いずれの区でも「不満・やや不満」と回答した割合が 30%以上と多くなっている。特に、南区では 50%以上が「不満・やや不満」と回答している。



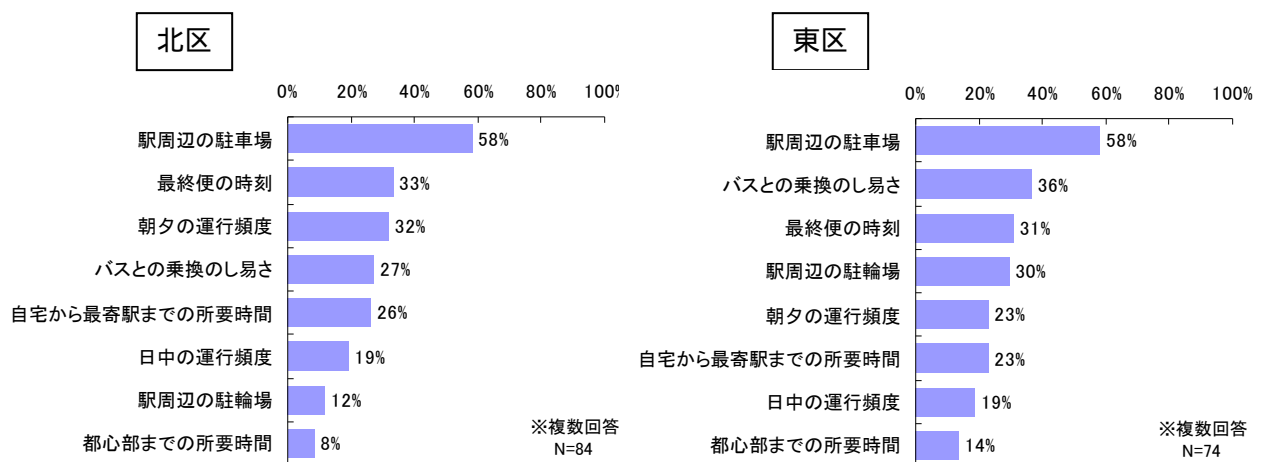
1) 総合的な評価

- ・鉄道の総合的な評価について、区内に鉄道駅を持たない南区や、都心部から距離的にも離れている西蒲区で「不満・やや不満」と回答した割合が多くなっている。



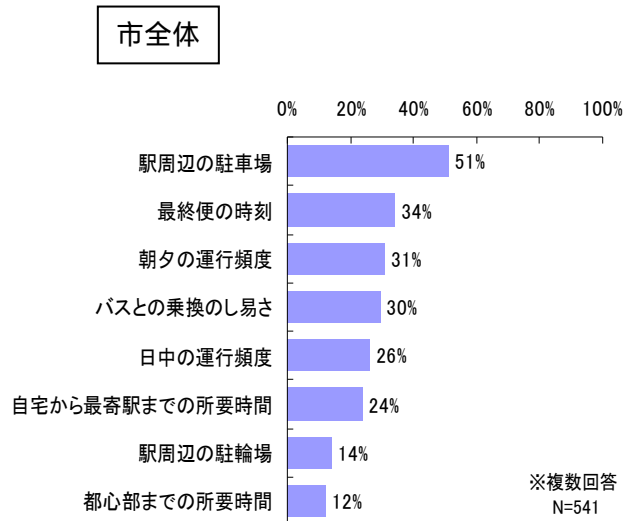
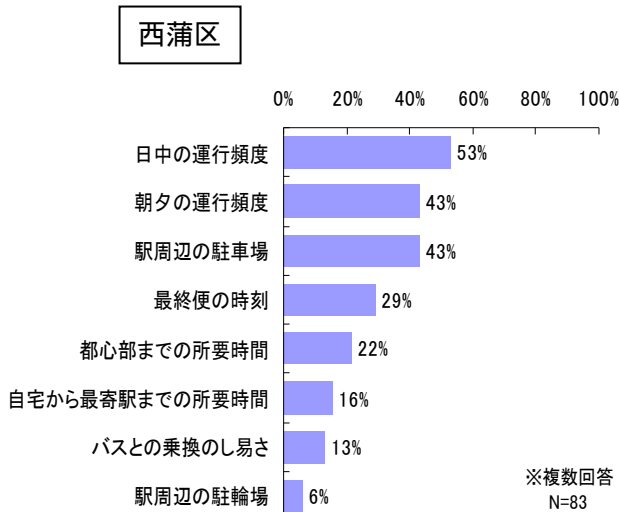
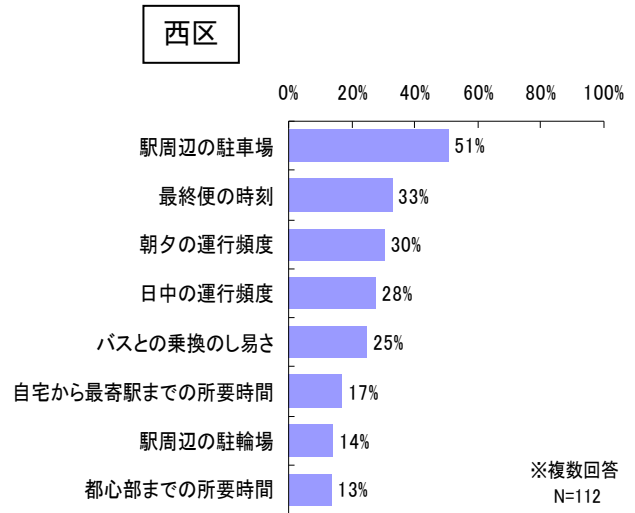
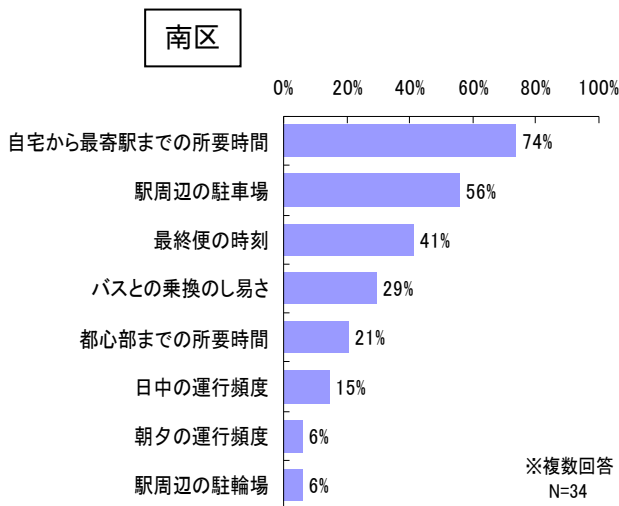
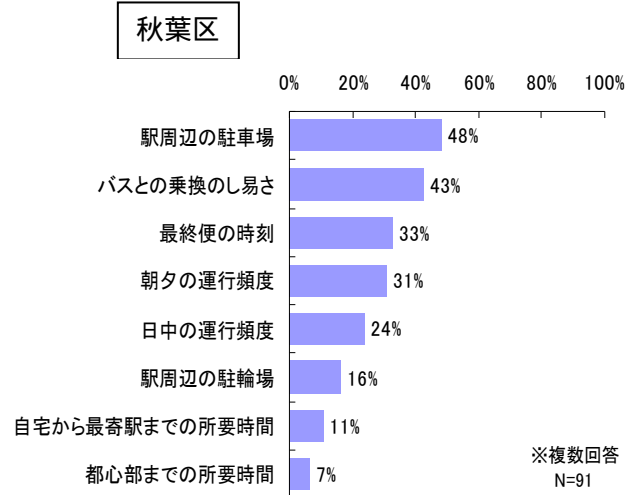
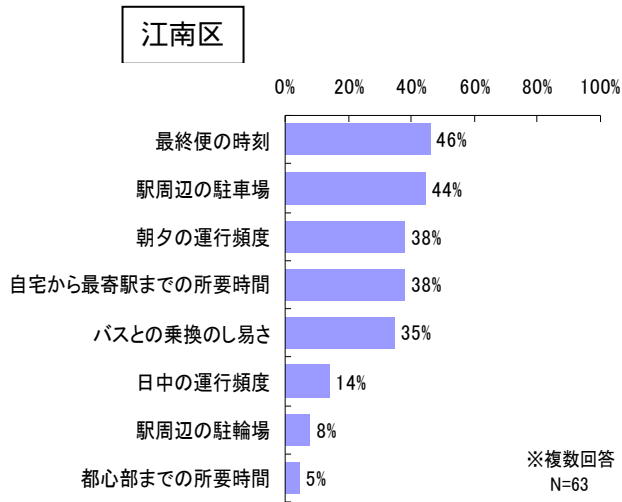
② 鉄道に特に改善を望む項目

- ・鉄道に特に改善を望む項目について、多くの区で「駅周辺の駐車場」と回答した割合が多くなっている。
- ・区別で見ると、江南区では「最終便の時刻」、南区では「自宅から最寄り駅までの所要時間」、西蒲区では「日中の運行頻度」と回答した割合が最も多くなっている。



1 交通政策に関する意識調査

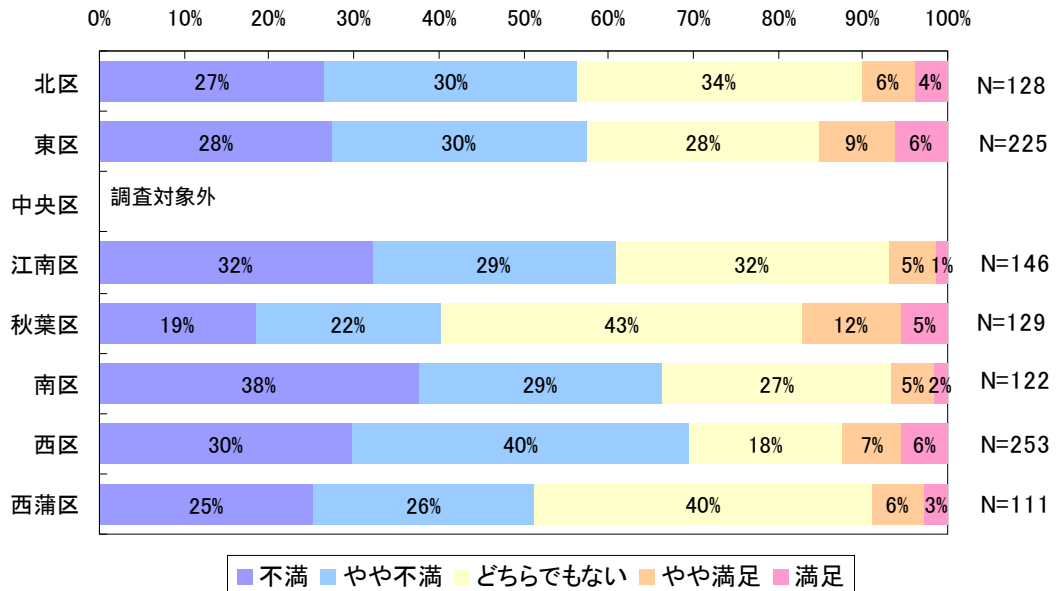
3) 都心部に出かけるときに利用可能な鉄道やバスについて



③ バスの満足度

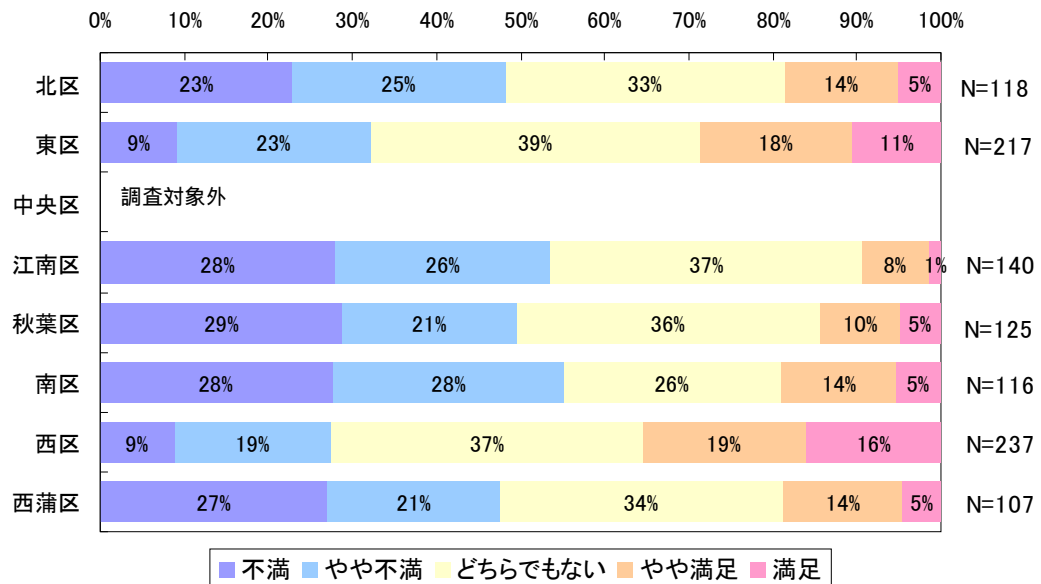
A) 運賃

- ・バスの運賃について、いずれの区でも「不満・やや不満」と回答した割合が50%以上となっている。しかし、秋葉区では他の区に比べてその割合が少なく、40%程度となっている。



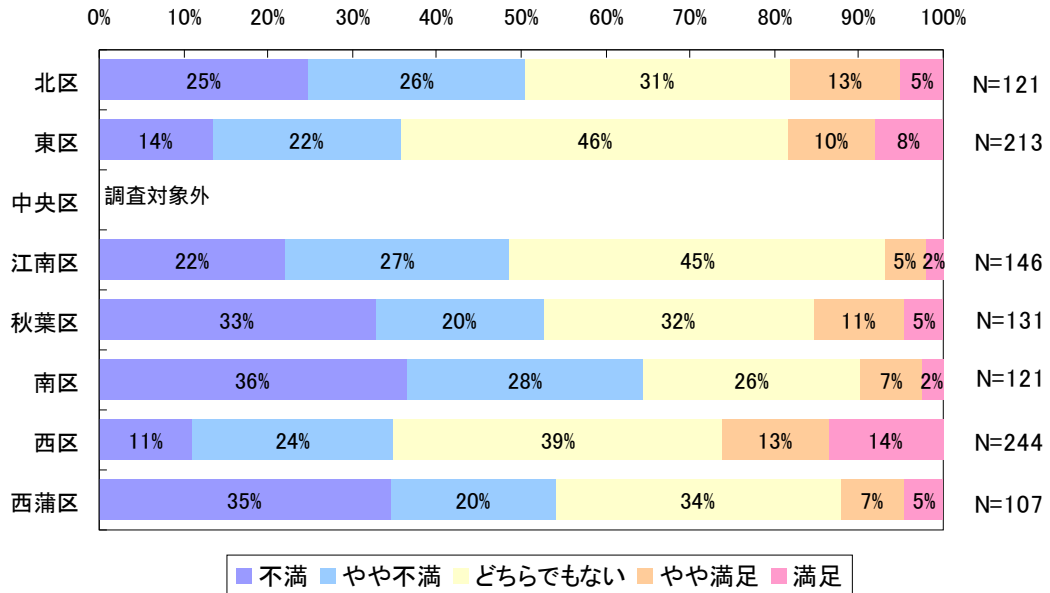
B) 朝夕の運行頻度

- ・バスの朝夕の運行頻度について、西区、東区では、「不満・やや不満」と回答した割合が他の区に比べて少なく、「満足・やや満足」と回答した割合も多くなっている。



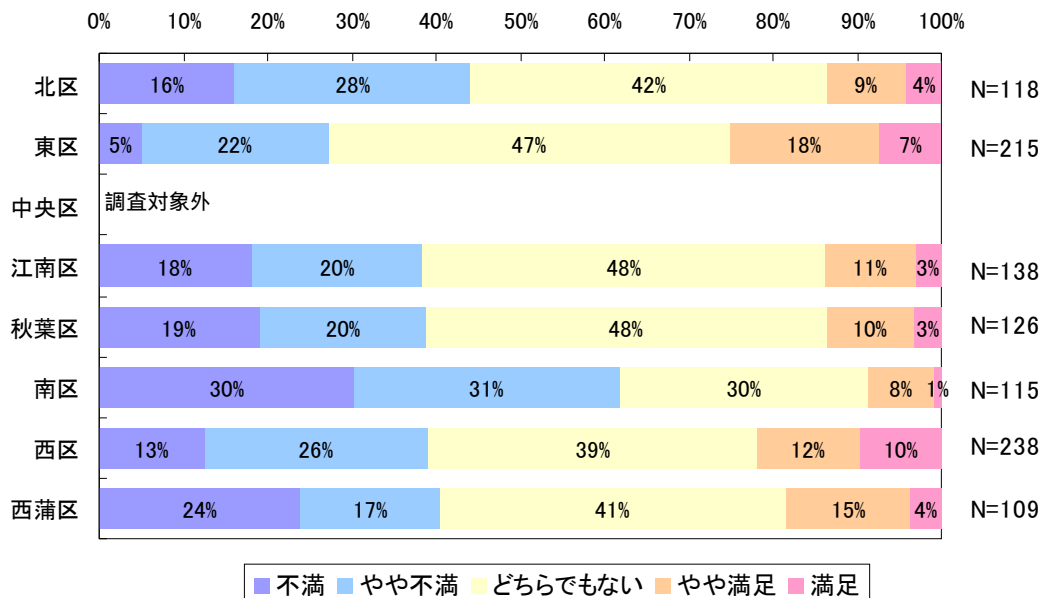
C) 日中の運行頻度

- ・バスの日中の運行頻度について、南区で「不満・やや不満」と回答した割合が多くなっており、60%を超えている。



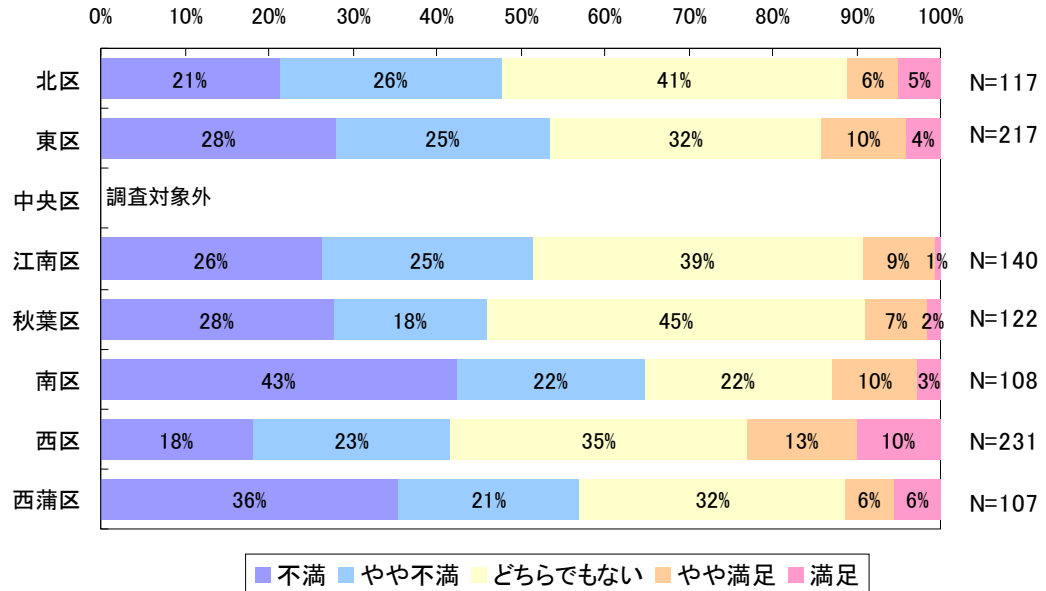
D) 都心部までの所要時間

- ・バスの都心部までの所要時間について、南区で「不満・やや不満」と回答した割合が特に多く、60%を超えている。



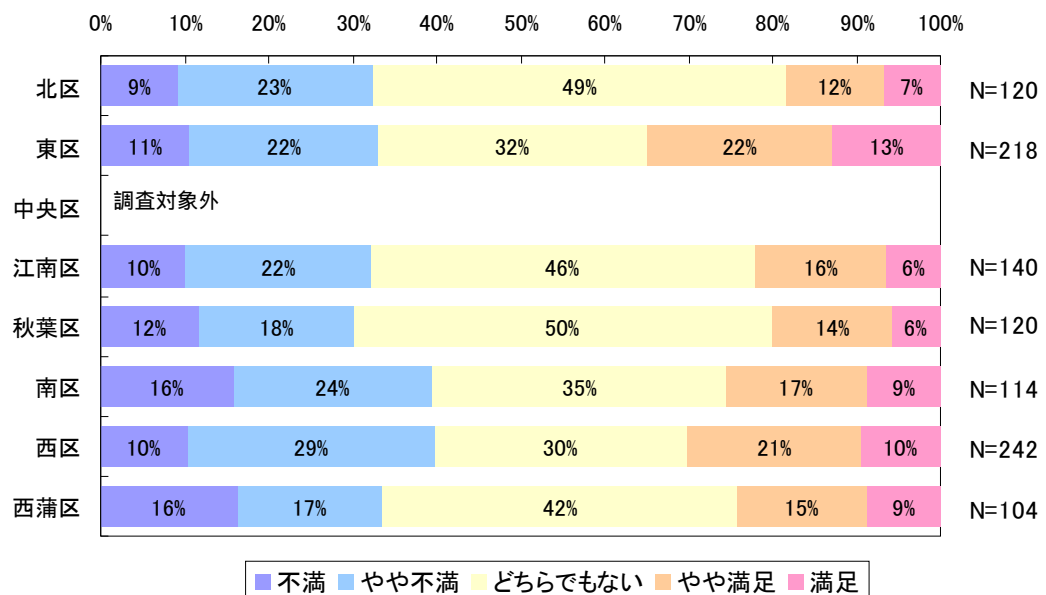
E) 最終便の時刻

- ・バスの最終便の時刻について、いずれの区でも「不満・やや不満」と回答した割合が半数程度となっている。



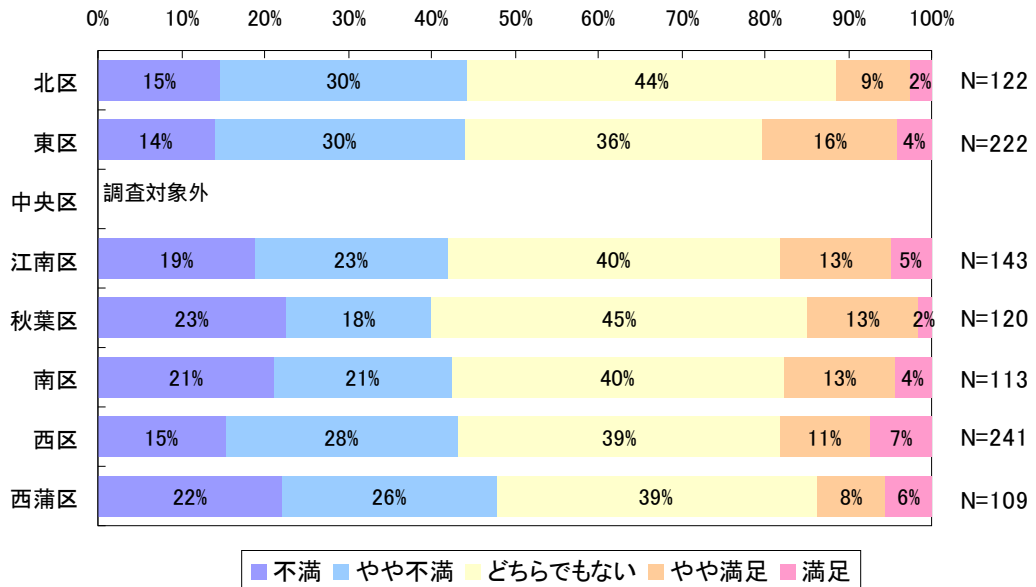
F) 時刻表どおりの運行

- ・バスの時刻表どおりの運行について、東区と西区で、「満足・やや満足」と回答した割合が他の区に比べて多く、30%以上となっている。



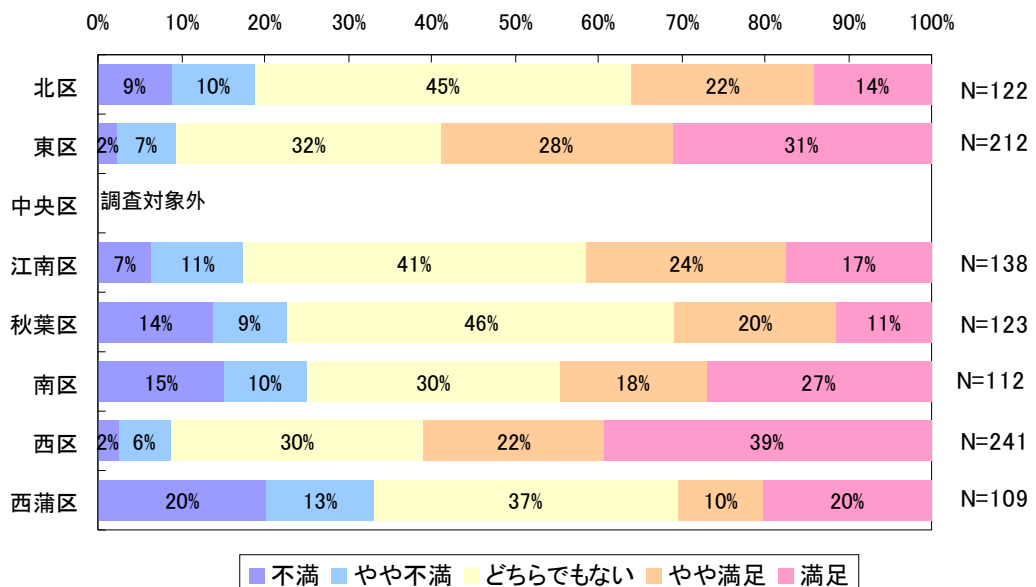
G) バス停のバス待ち環境

- ・バス停のバス待ち環境について、いずれの区も満足度に大きな違いは見られない。
- ・しかし、「不満・やや不満」と回答した割合がいずれの区も40%以上となっており、「満足・やや満足」と回答した割合が20%以下と少なくなっている。



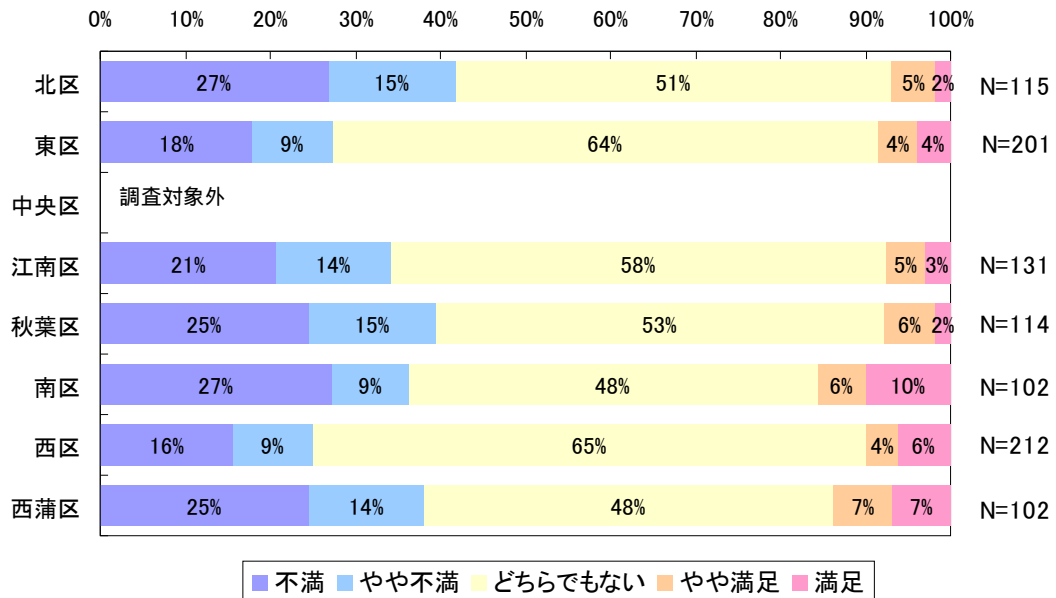
H) 自宅から最寄バス停までの所要時間

- ・自宅から最寄バス停までの所要時間について、「満足・やや満足」と回答した割合が多くなっている。
- ・特に、東区と西区では、「満足・やや満足」が約60%と多く、「不満・やや不満」と回答した割合は10%以下となっている。



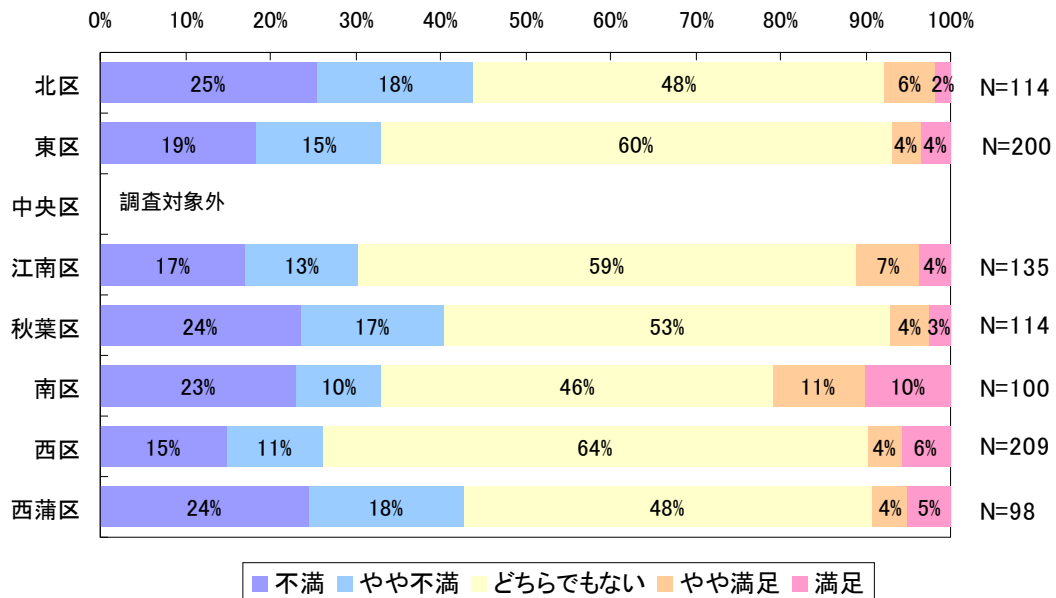
I) バス停付近の駐車場

- ・バス停付近の駐車場について、いずれの区も「満足・やや満足」と回答した割合が少なくなっている。



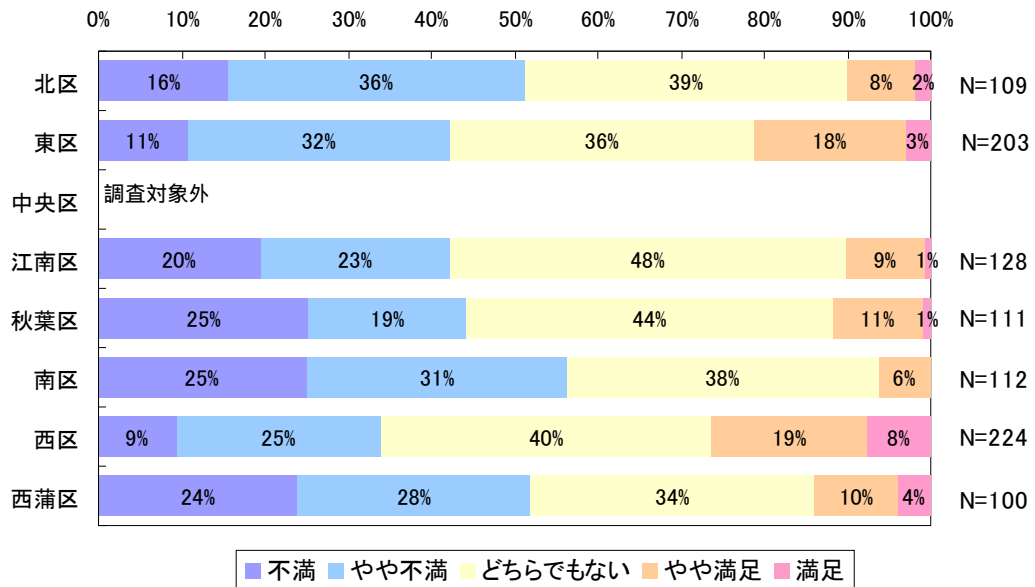
J) バス停付近の駐輪場

- ・バス停付近の駐輪場について、いずれの区も「満足・やや満足」と回答した割合が少なくなっている。しかし、南区だけが他の区と比べて20%以上と多くなっている。



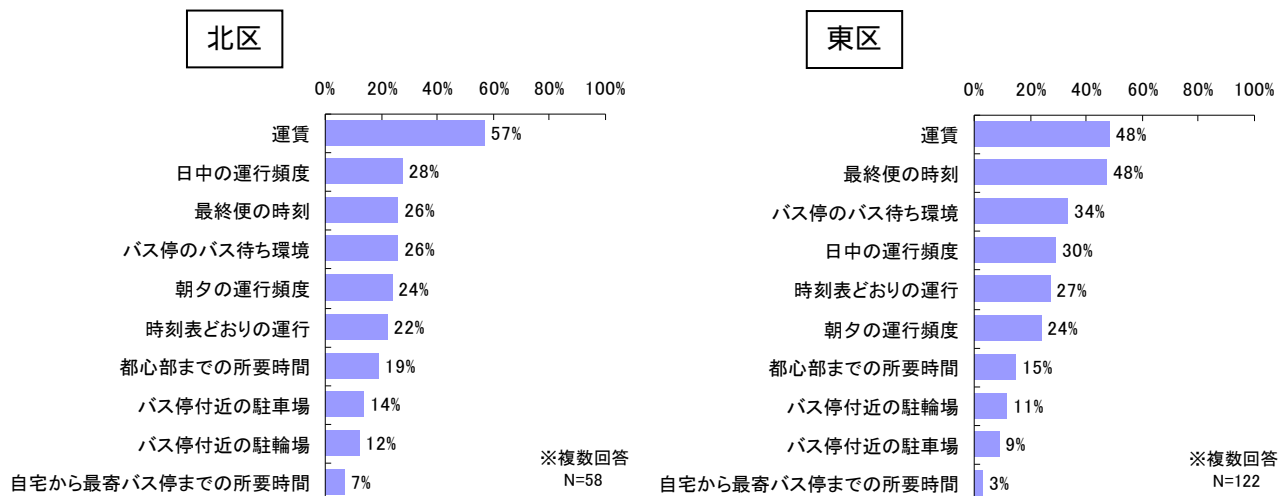
K) 総合的な評価

- ・バスの総合的な評価について、「不満・やや不満」と回答した割合が約40%以上と多くなっている。しかし、西区だけが他の区と比べて約30%と少なくなっている。



④ バスに特に改善を望む項目

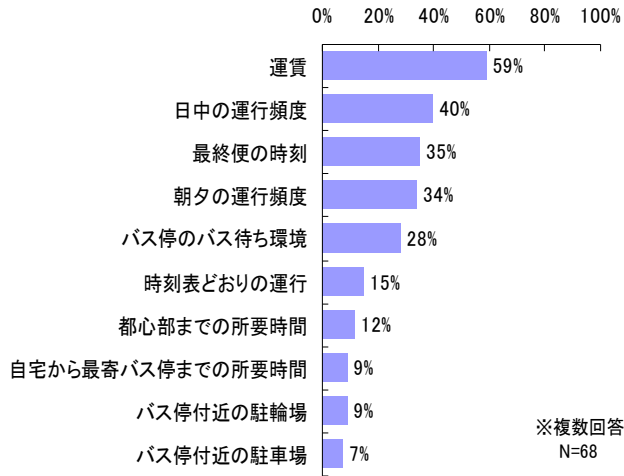
- ・バスに特に改善を望む項目について、秋葉区と西蒲区を除く全ての区で「運賃」と回答した割合が最も多くなっている。
- ・また、秋葉区では「朝夕の運行頻度」、西蒲区では「日中の運行頻度・最終便の時刻」と回答した割合が最も多くなっている。



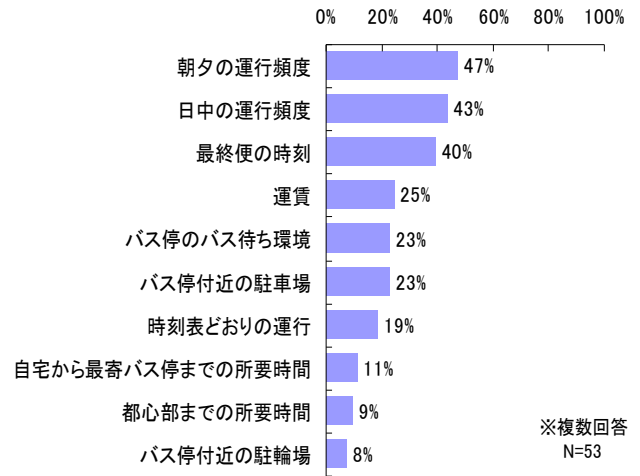
1 交通政策に関する意識調査

3) 都心部に出かけるときに利用可能な鉄道やバスについて

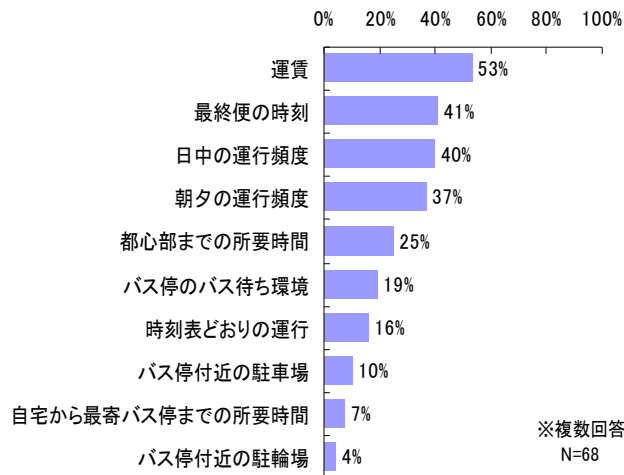
江南区



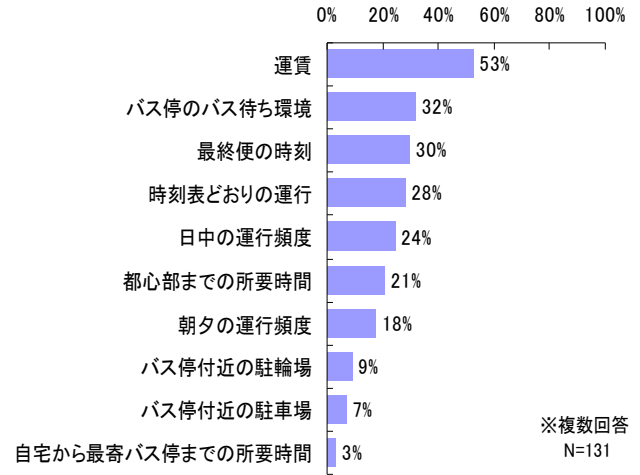
秋葉区



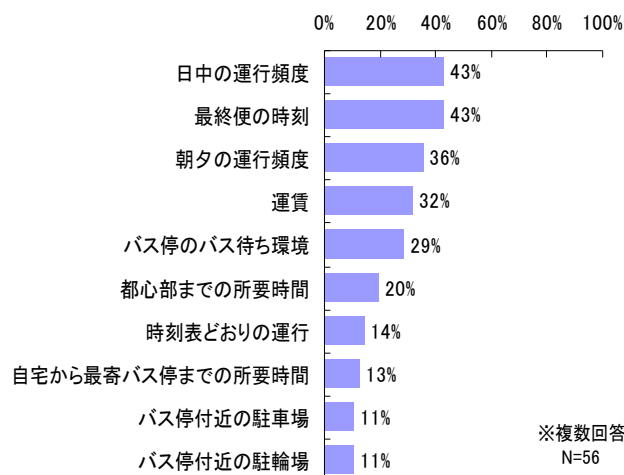
南区



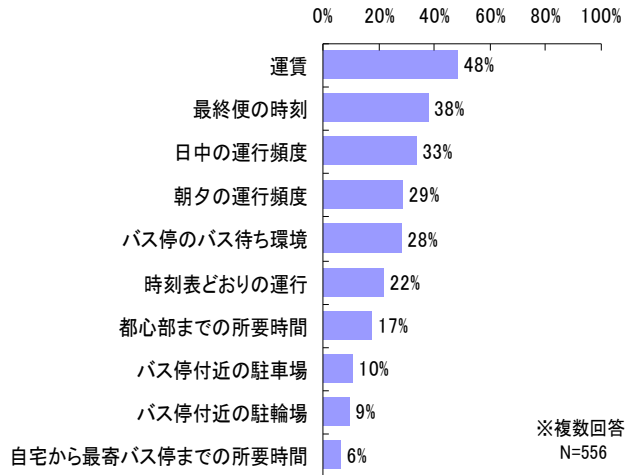
西区



西蒲区



市全体

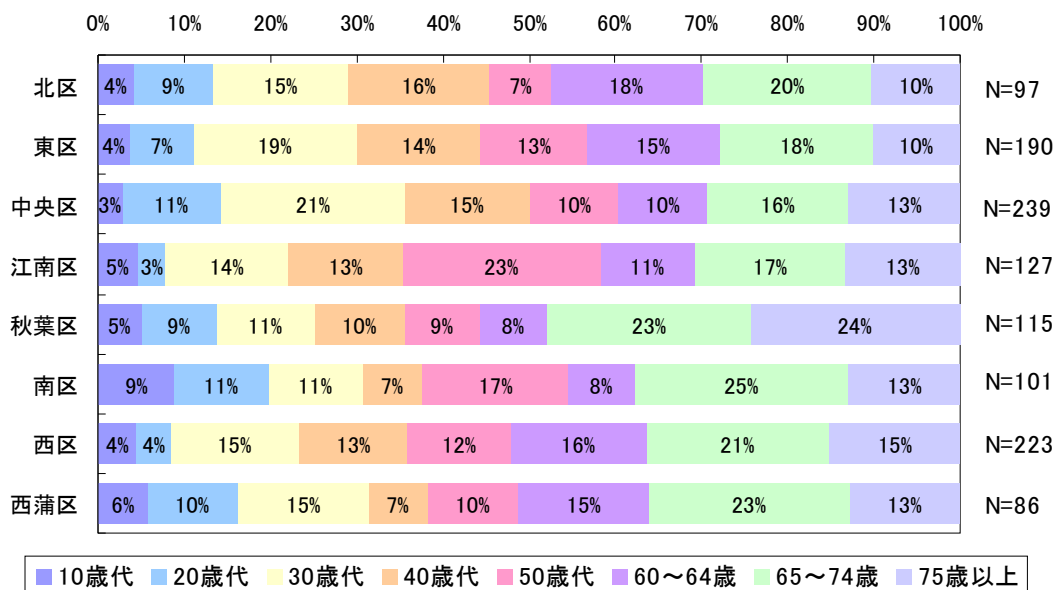


4) 区内のバス移動について

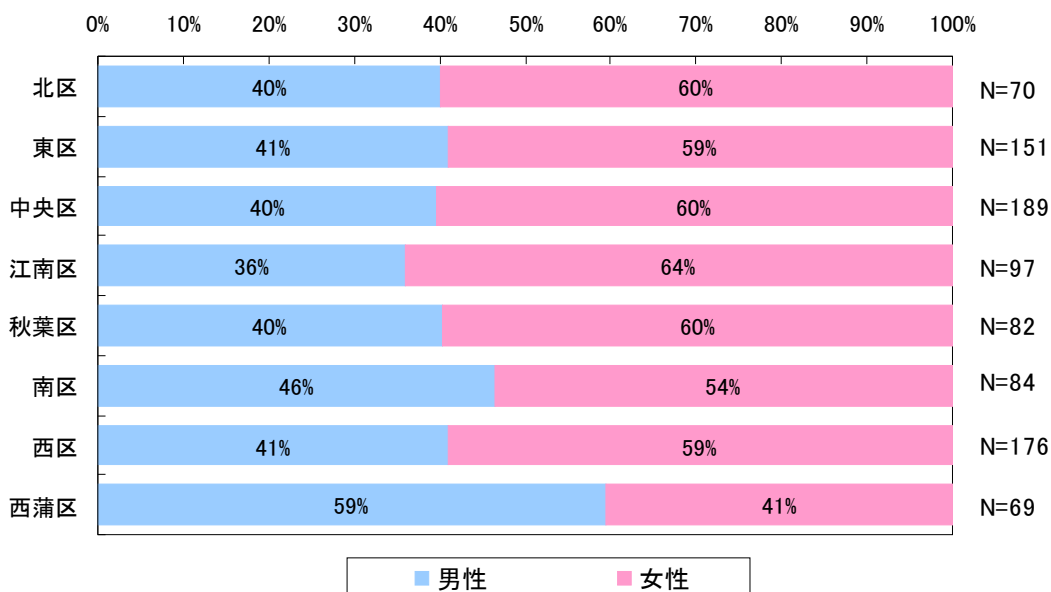
① 回答者の属性

A) 年齢・性別

- ・年齢別で見ると、いずれの区でも60歳以上の割合が40%以上を占めており、特に秋葉区、西区、西蒲区では50%以上であった。

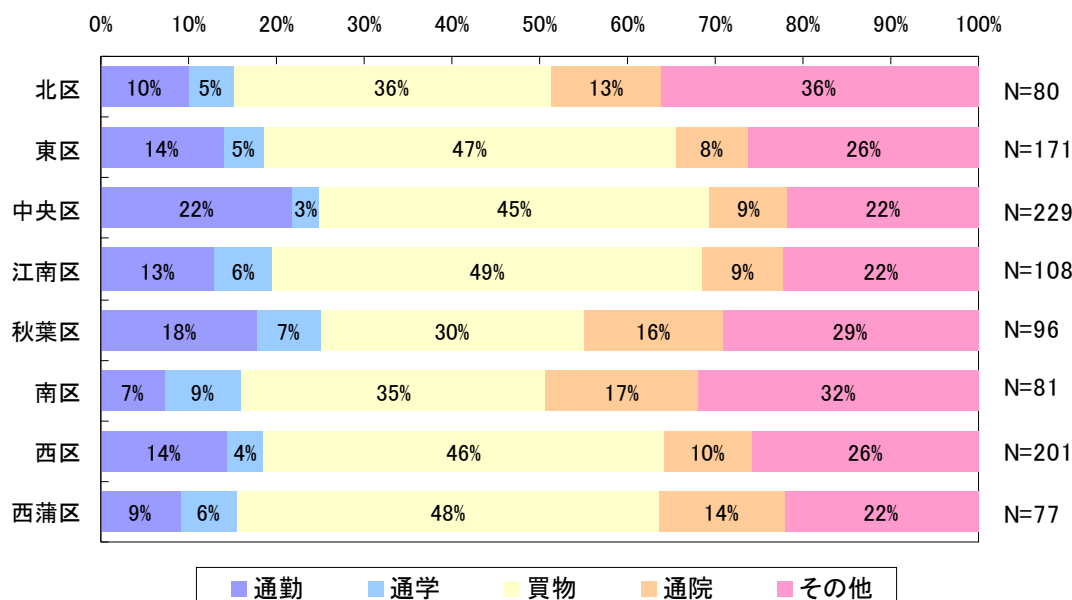


- ・性別で見ると、多くの区で女性が60%程度を占めているが、西蒲区では男性が約60%であった。



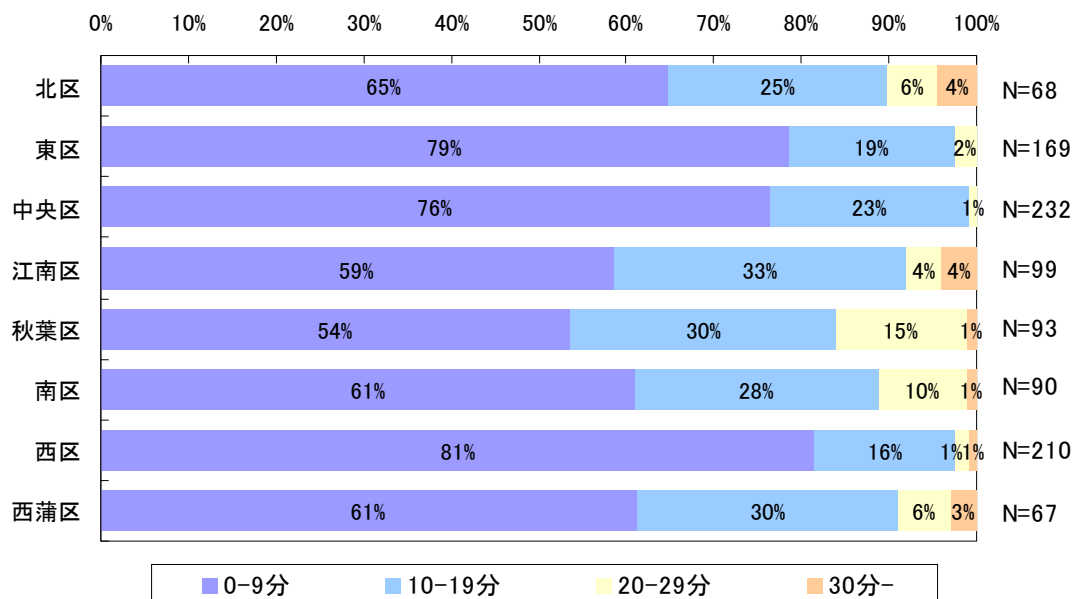
B) 主な移動の目的

- ・区内におけるバス移動の主な移動の目的について、いずれの区でも「買物」と回答した割合が多くなっている。
- ・中央区、秋葉区では「通勤・通学」と回答した割合が25%と他の区に比べて多くなっている。



C) 最寄バス停までの所要時間

- ・最寄バス停までの所要時間について、いずれの区でも「9分以下」と回答した割合が最も多く、特に、東区、中央区、西区では約80%となっている。

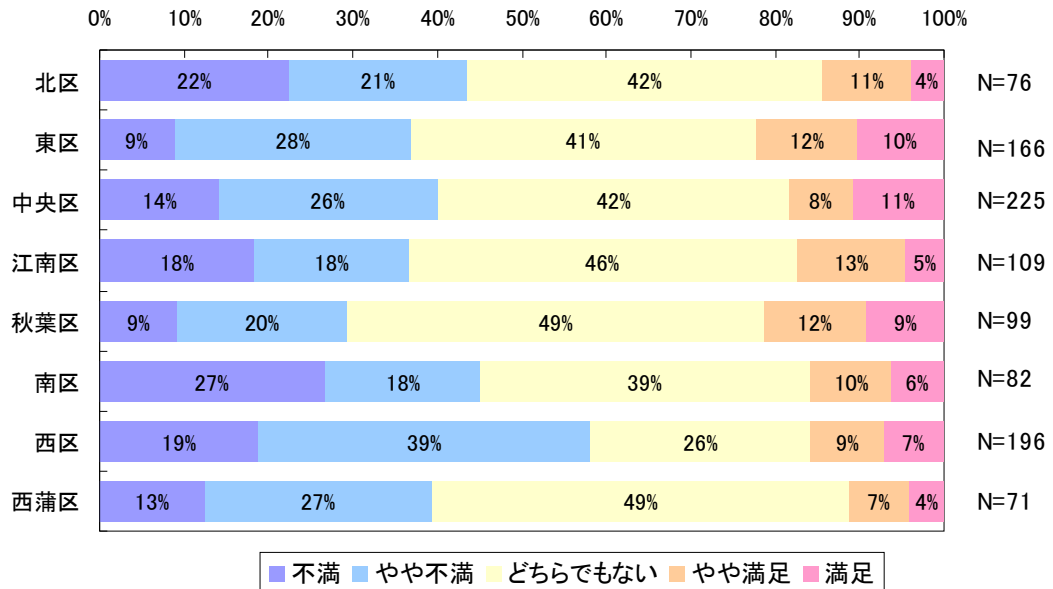


5) 区内のバス交通について

① 区内のバス交通の満足度

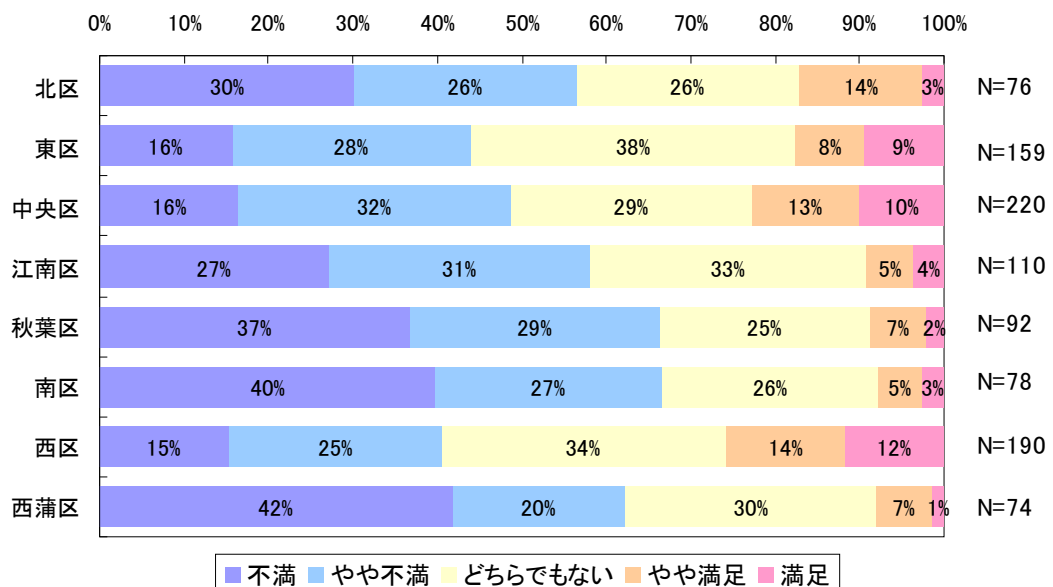
A) 運賃

- 区内におけるバスの運賃について、いずれの区でも「満足・やや満足」と回答した割合が22%以下と少なく、特に、西区では「不満・やや不満」と回答した割合が約60%となっている。



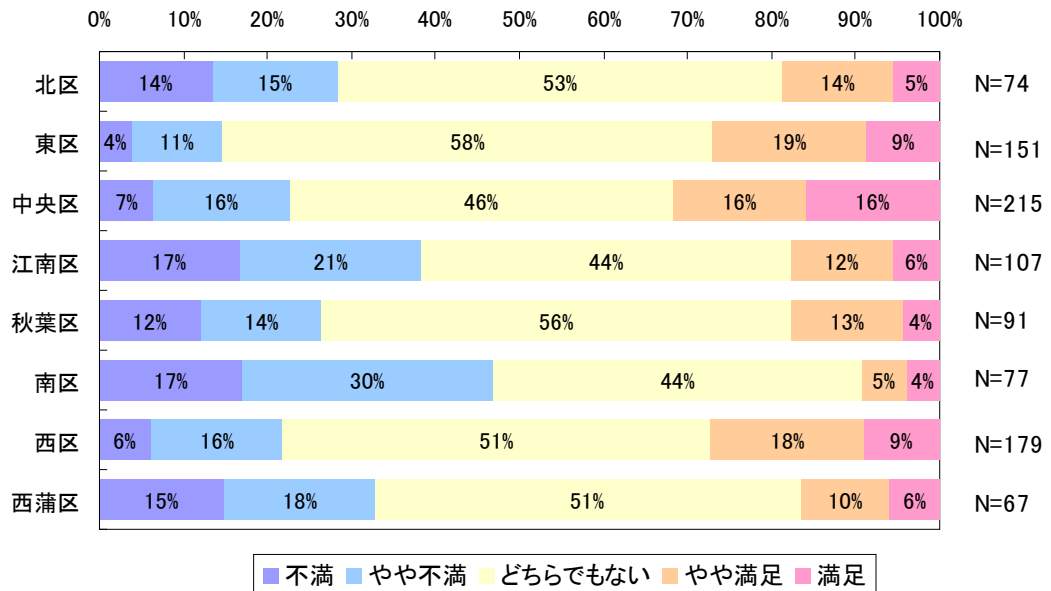
B) 運行頻度

- 区内におけるバスの運行頻度について、いずれの区も「不満・やや不満」と回答した割合が多くなっている。
- 江南区、秋葉区、南区、西蒲区では「満足・やや満足」と回答した割合が他の区に比べて少なく10%以下となっている。



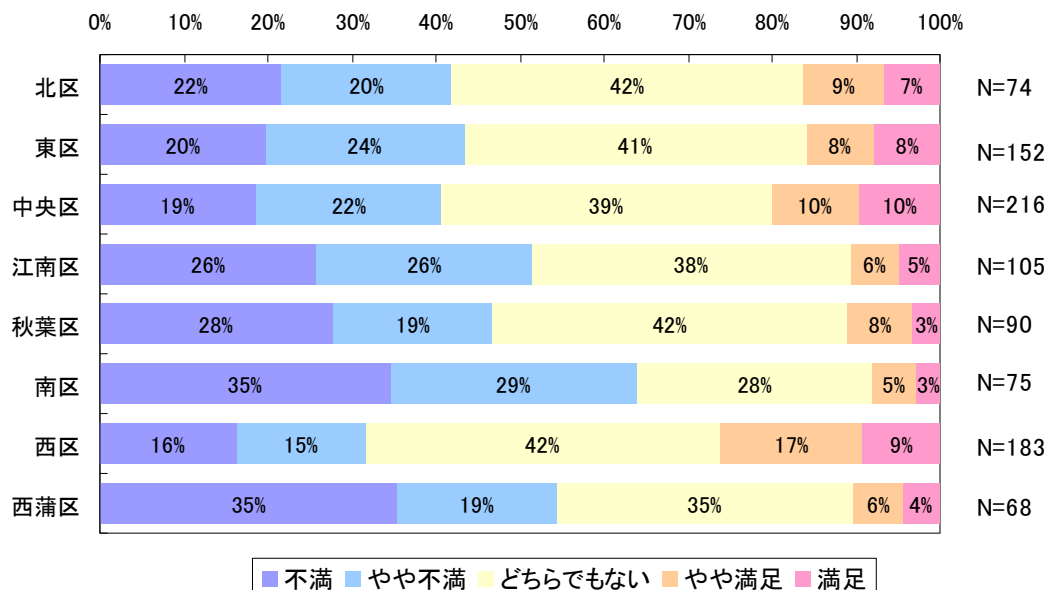
C) 目的地までの所要時間

- ・区内におけるバスでの目的地までの所要時間について、南区で「不満・やや不満」と回答した割合が約50%と他の区に比べて多くなっている。
- ・一方、中央区、東区、西区では「不満・やや不満」よりも「満足・やや満足」と回答した割合の方が多くなっている。



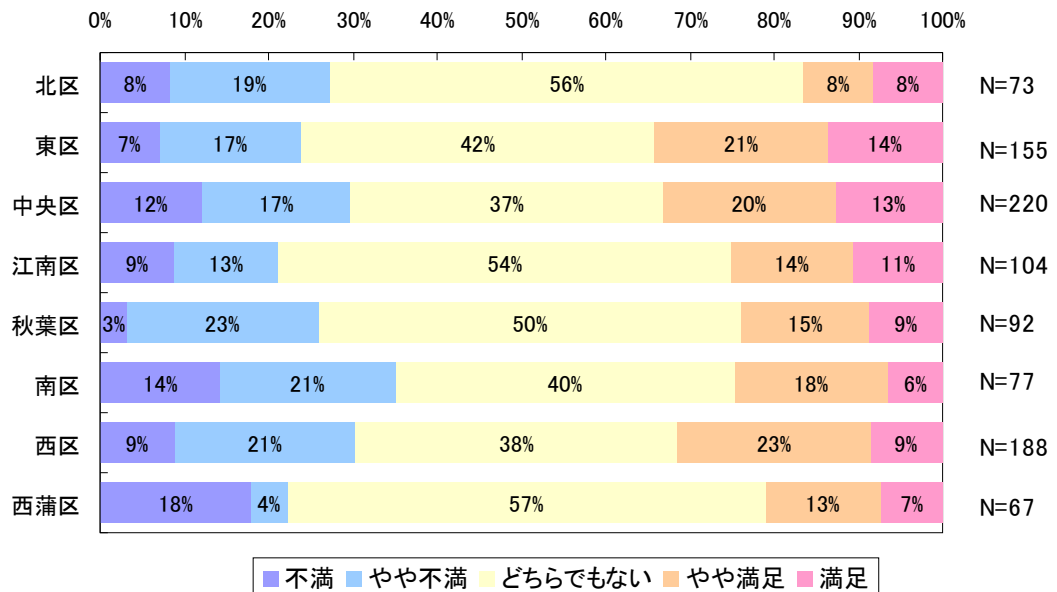
D) 最終便の時刻

- ・区内におけるバスの最終便の時刻について、南区では「不満・やや不満」と回答した割合が60%以上と多くなっている。一方で、西区では30%程度と少なくなっている。



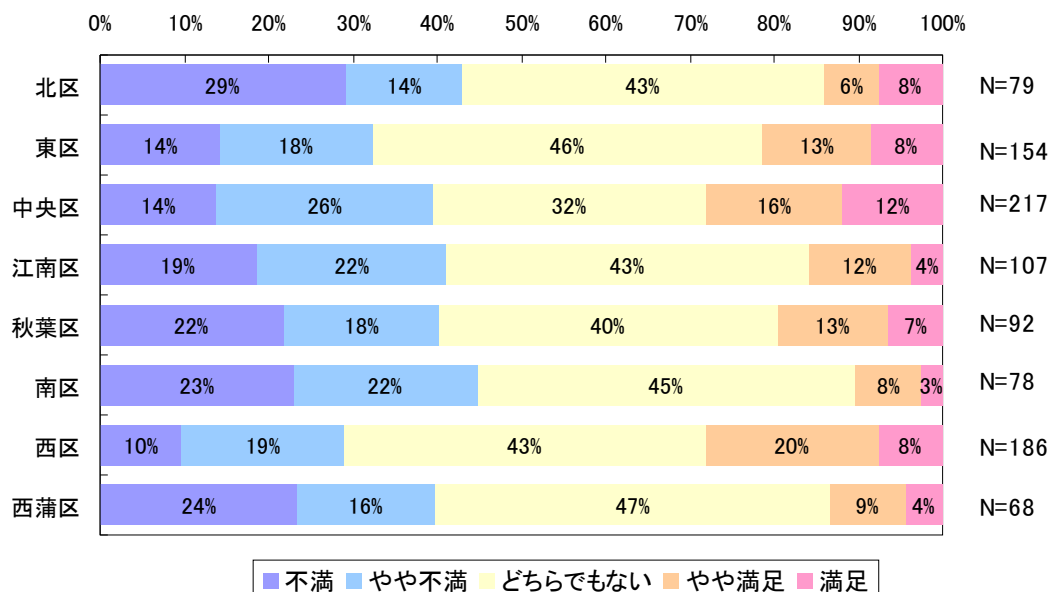
E) 時刻表どおりの運行

- ・区内におけるバスの時刻表どおりの運行について、北区で「満足・やや満足」と回答した割合が16%と、他の区に比べて少なくなっている。
- ・一方、北区の「不満・やや不満」と回答した割合をしてみると他の区と比べて大きな違いはなく、むしろ南区、西区、中央区の方が多くなっている。



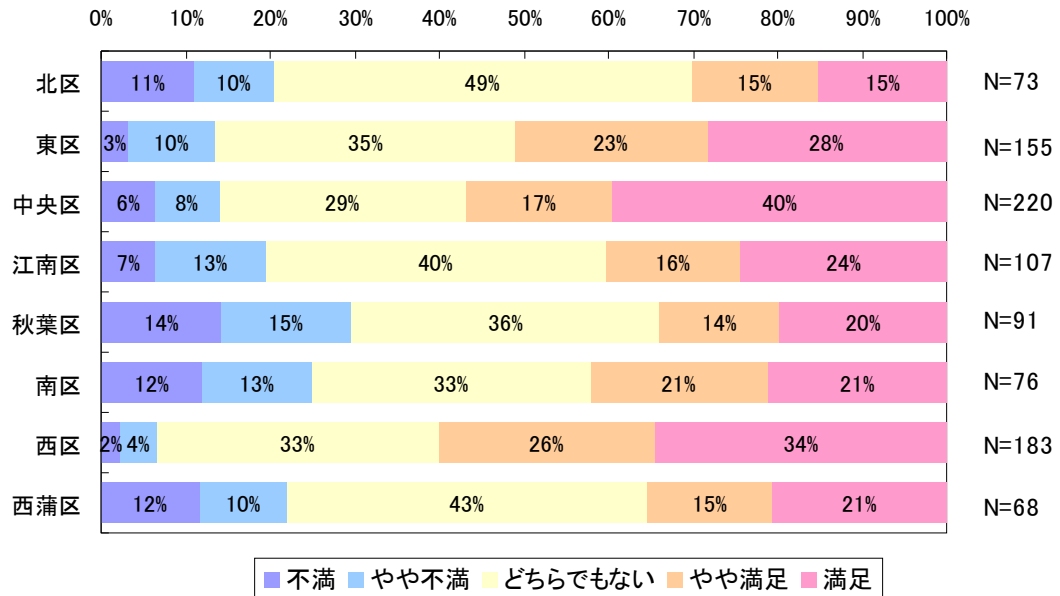
F) 運行ルート

- ・区内におけるバスの運行ルートについて、西区、中央区では「満足・やや満足」と回答した割合が他の区に比べて多く約30%となっている。



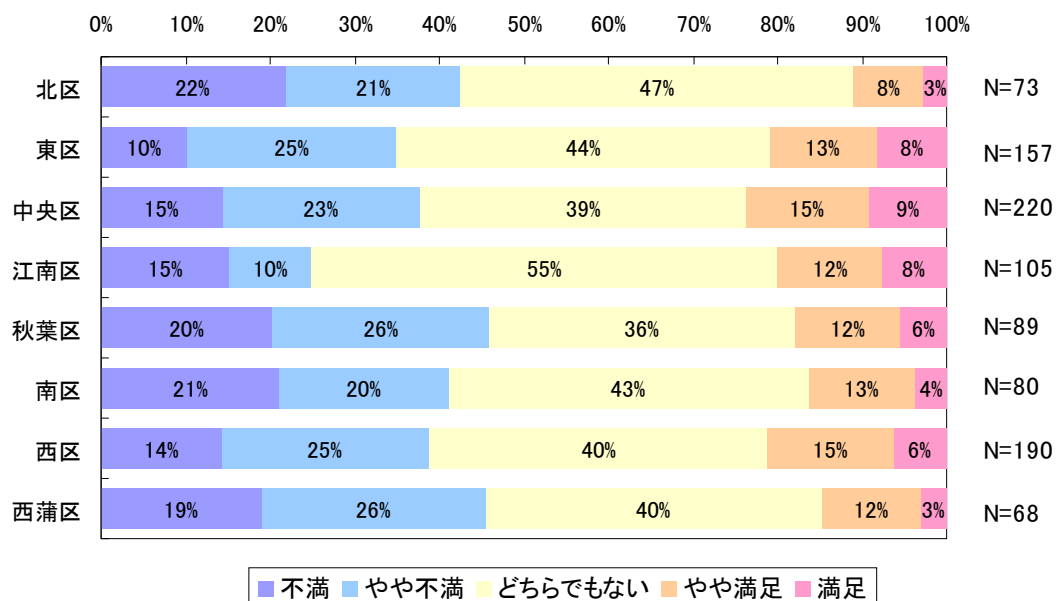
G) 自宅から最寄バス停までの所要時間

- ・自宅から最寄バス停までの所要時間について、西区、中央区、東区では「満足・やや満足」と回答した割合が多く50%以上となっている。



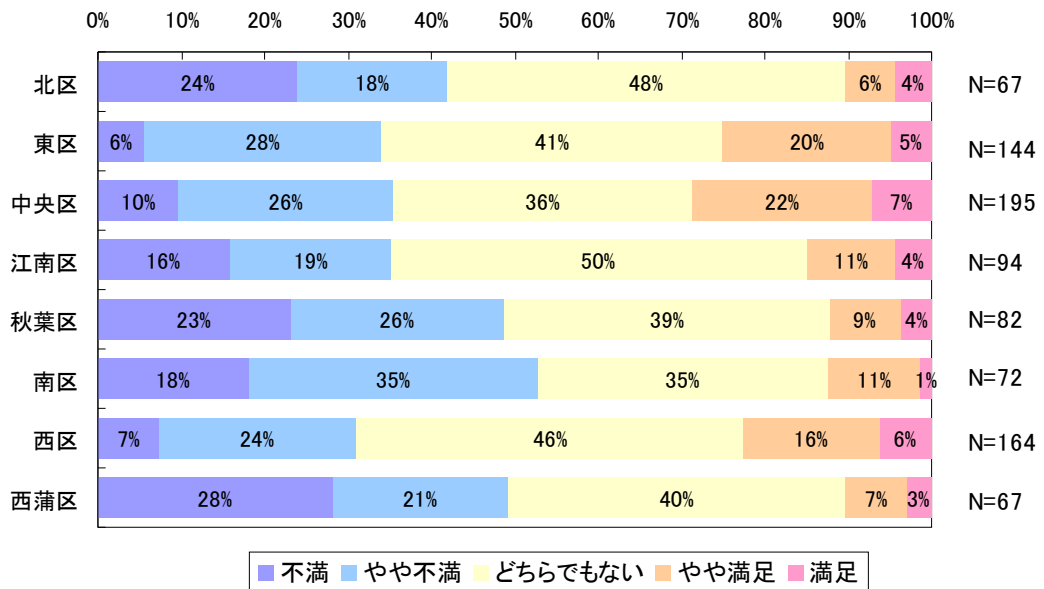
H) バス停のバス待ち環境

- ・バス停のバス待ち環境について、いずれの区でも「満足・やや満足」よりも「不満・やや不満」と回答した割合の方が多くなっている。



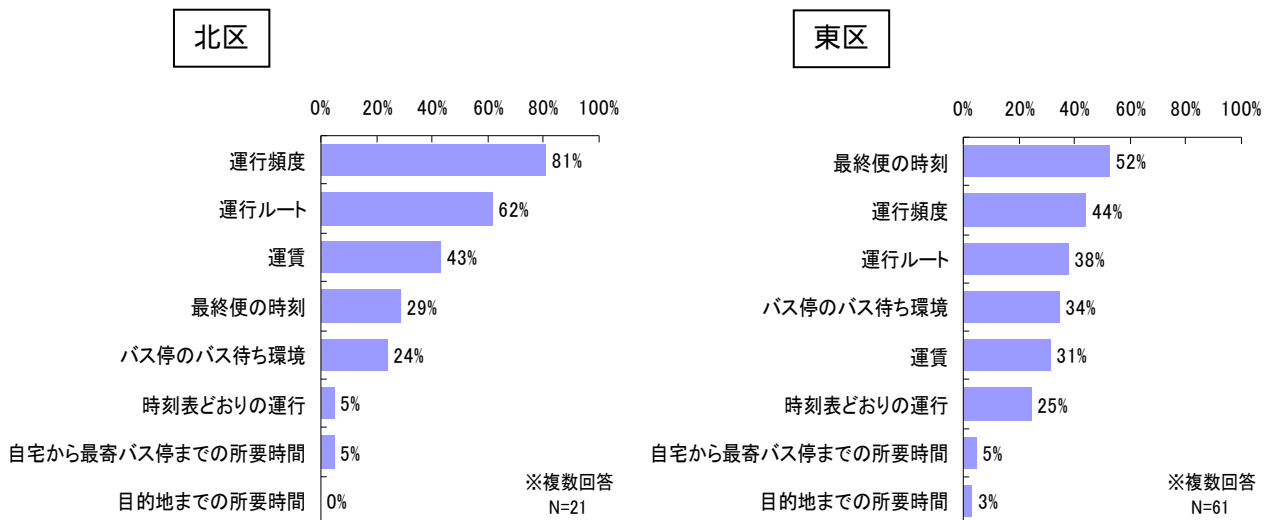
1) 総合的な評価

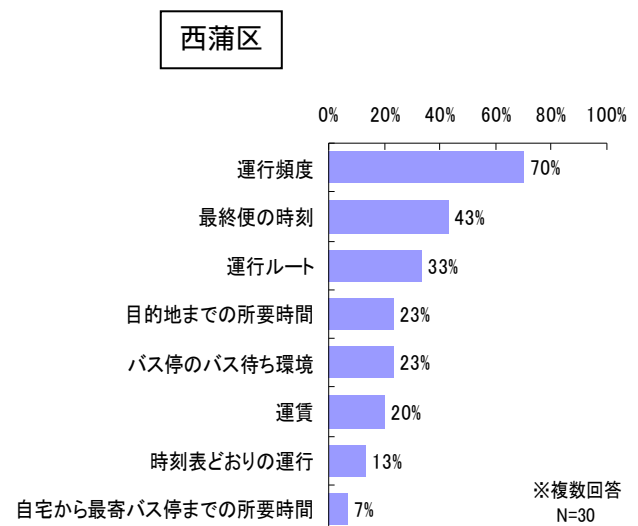
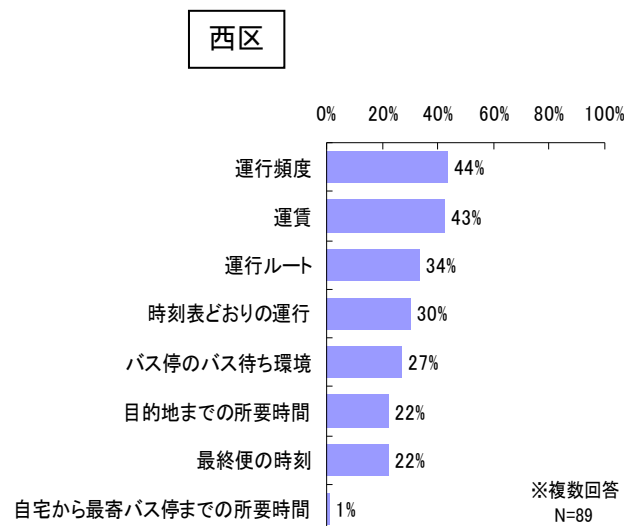
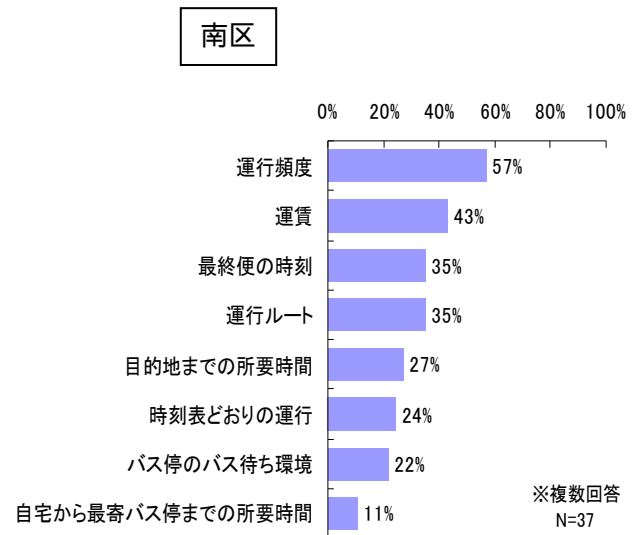
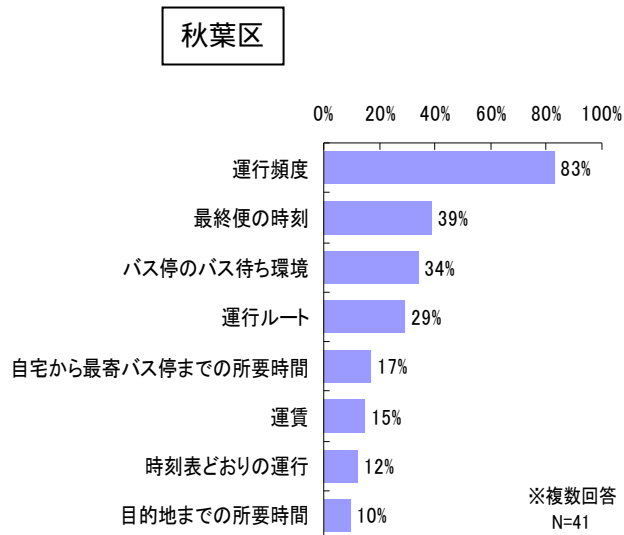
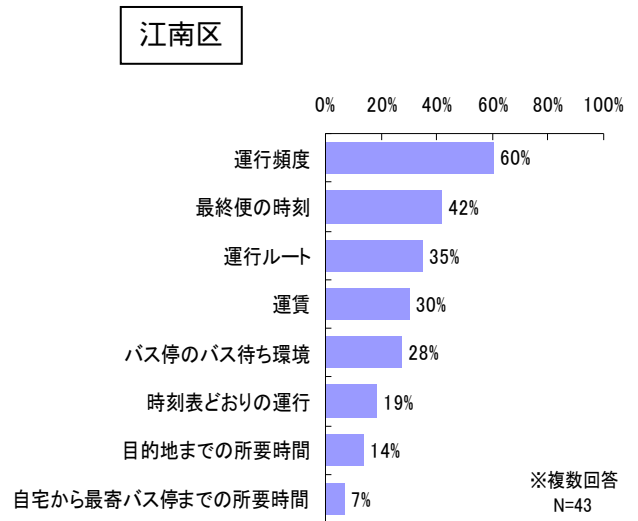
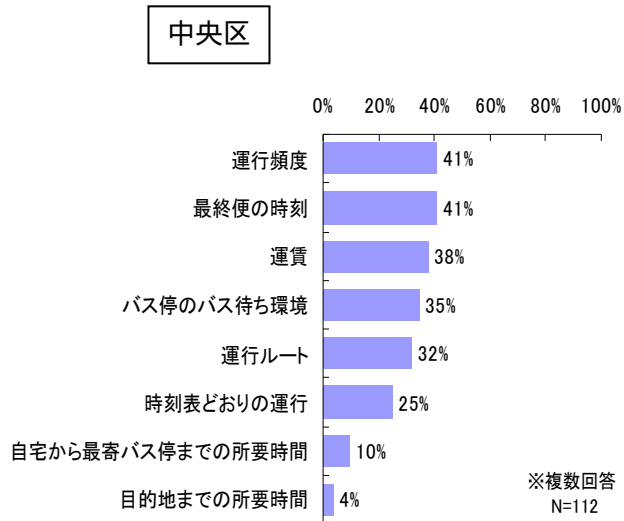
- ・バスの総合的な評価について、中央区、東区、西区では「満足・やや満足」と回答した割合が他の区に比べて多くなっている。
- ・一方、南区、秋葉区、西蒲区では「不満・やや不満」と回答した割合が他の区に比べて多く、約半数を占めている。



② 区内のバス交通に特に改善を望む項目

- ・区内のバス交通に特に改善を望む項目について、東区を除く全ての区で「運行頻度」と回答した割合が最も多くなっている。特に、北区、秋葉区でその割合が多く、80%以上となっている。



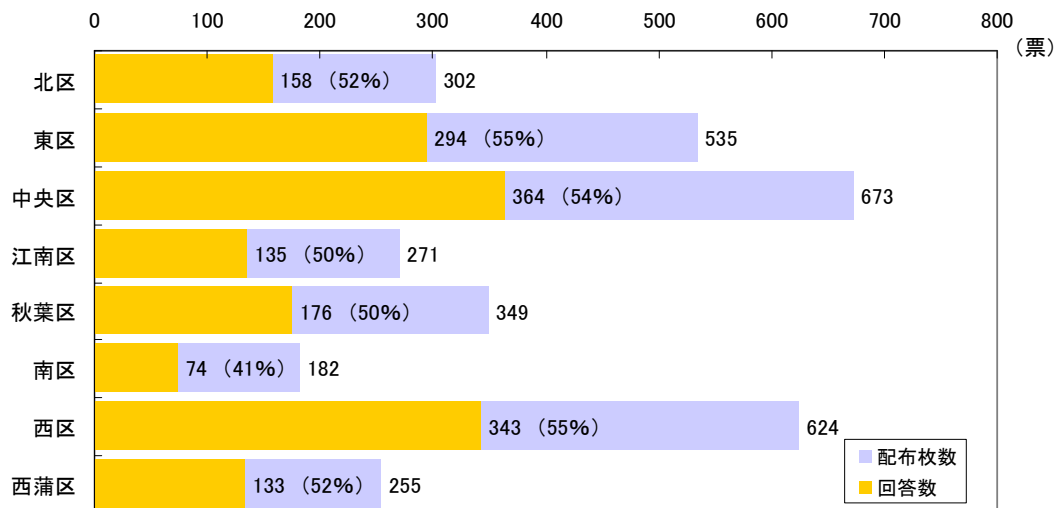


2 高齢社会における交通政策に関する意識調査

1) 調査結果概要

① 配布数と回収・回答率

・本調査は65歳以上を対象に3,000票配布し、回収率は全体で60.9% (1,826票) であった。

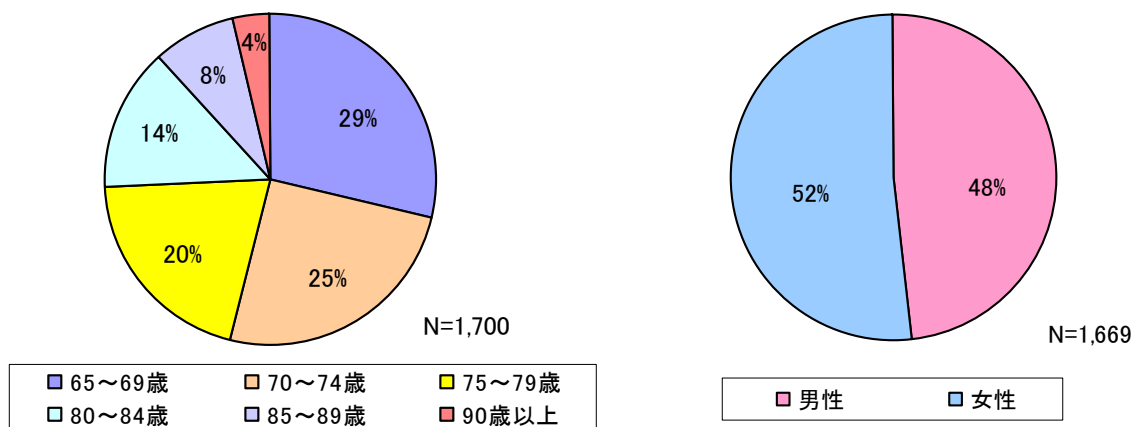


2) 回答者の属性

① 年齢・性別

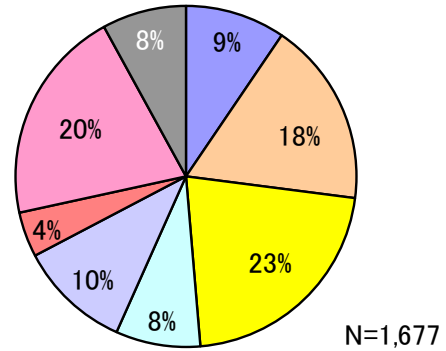
・年齢別で見ると、回答者の年齢構成は65～69歳が29%、70～74歳が25%であり、75歳未満が半数以上であった。

・性別で見ると、男性が48%、女性が52%であった。



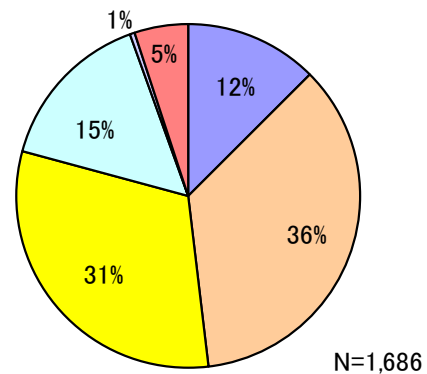
② 居住地

- ・回答者の居住地は、中央区（23%）、西区（20%）、東区（18%）、秋葉区（10%）、北区（9%）、江南区（8%）、西蒲区（8%）、南区（4%）の順に多かった。



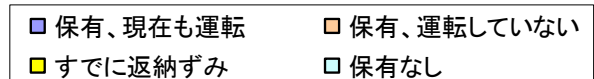
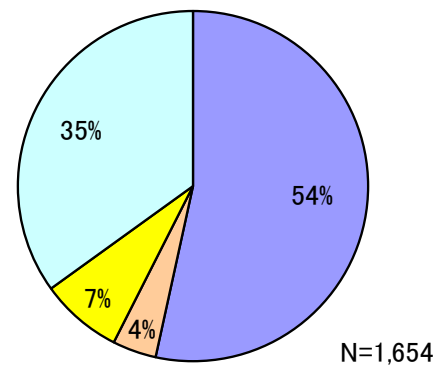
③ 世帯構成

- ・世帯構成を見てみると、「夫婦のみ（36%）」の世帯からの回答が最も多く、次いで「親子（2世代同居）（31%）」であった。



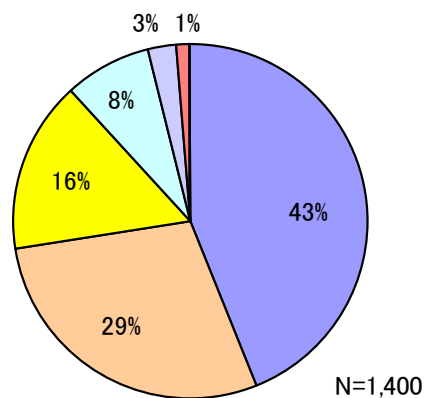
④ 運転免許の保有状況

- ・運転免許の保有状況を見てみると、「保有、現在も運転」と回答した割合が54%と最も多かった。
- ・一方、「保有なし」と回答した割合は35%であった。
- ・「保有、運転していない」、「すでに返納済み」を合わせても10%程度であった。



⑤ 世帯の自動車保有台数

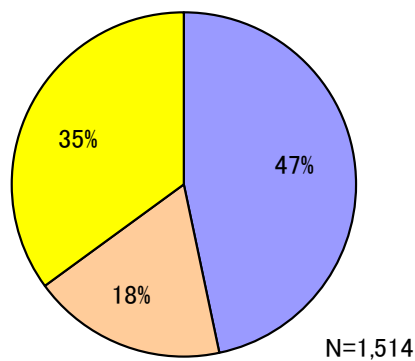
- ・世帯の自動車保有台数を見てみると、「0台」と回答した割合が43%と最も多かった。
- ・次いで「1台」が29%、「2台以上」と回答した割合は28%であった。



■ 0台 ■ 1台 ■ 2台 ■ 3台 ■ 4台 ■ 5台 ■ 6台

⑥ 自由に使える自動車の有無

- ・世帯における自動車の利用状況を見てみると、回答者の方が「自分専用」で使える自動車を持っている割合が約半数を占めていた。

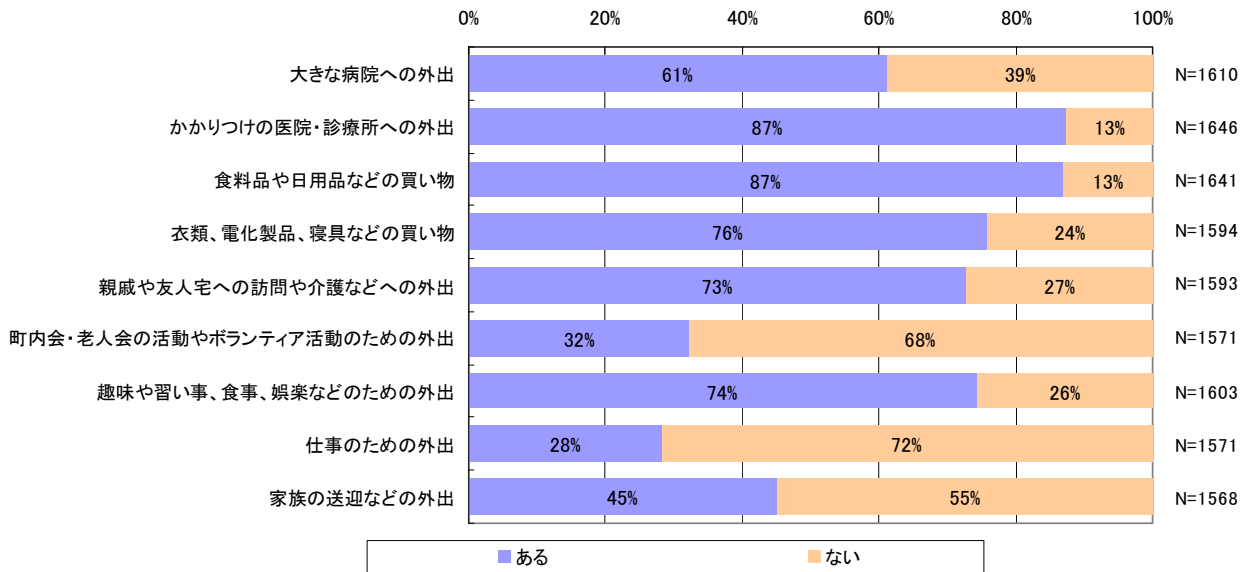


■ 自分専用 ■ 家族共用 ■ なし

3) 普段の外出行動について

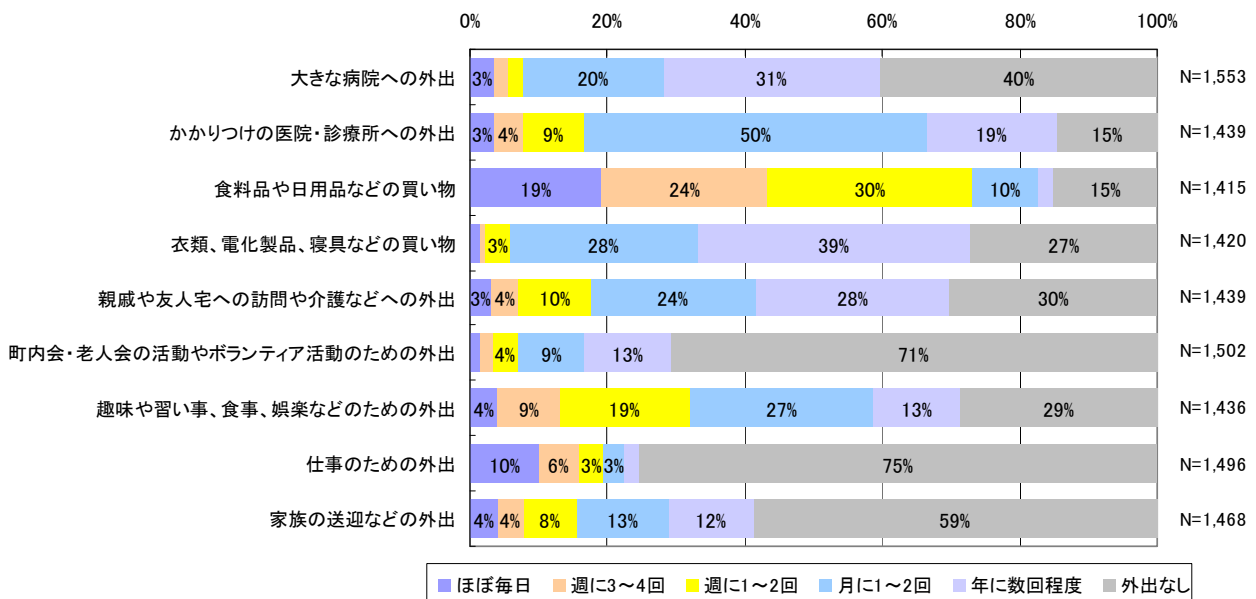
① 1年を通じた外出の有無

- ・1年を通じた外出の有無について、目的別に見てみると、「かかりつけの医院・診療所への外出」や「食料品や日用品などの買い物」と回答した割合が多く約90%となっている。
- ・一方、「町内会・老人会の活動やボランティア活動のための外出」や「仕事のための外出」と回答した割合は少なく約30%となっている。



② 目的別の外出頻度

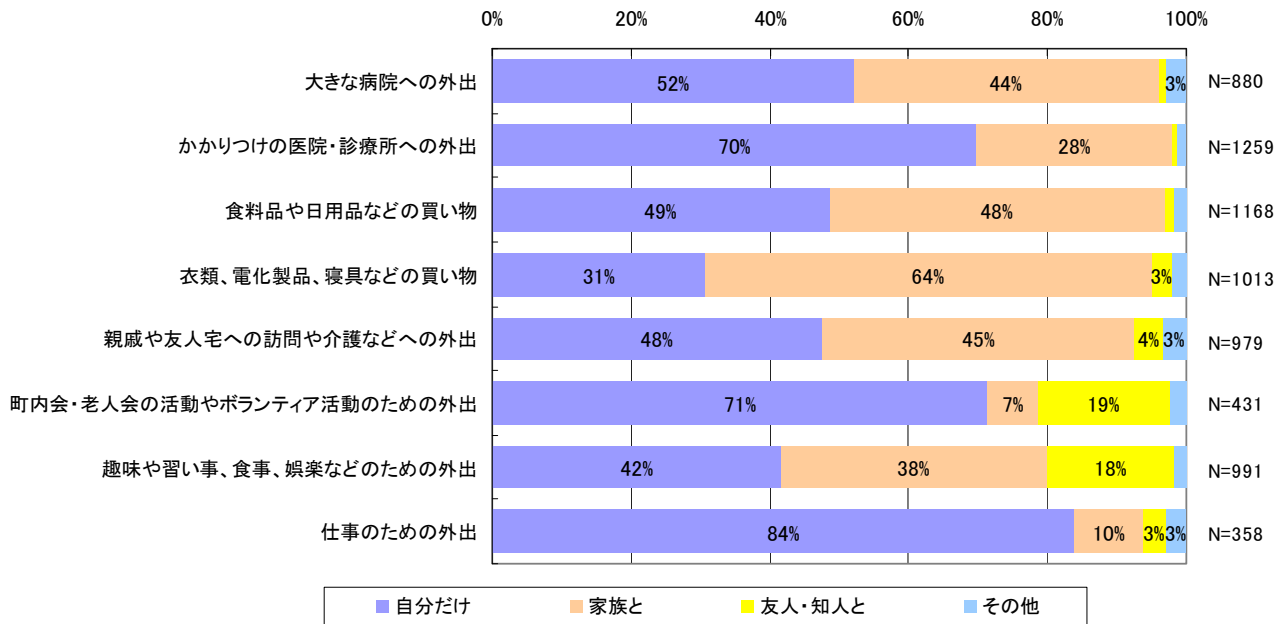
- ・外出頻度について、目的別に見てみると「食料品や日用品などの買い物」と回答した割合が最も多く、70%以上が「週に1回以上」外出していると回答している。



の集計値は、「頻度」の設問に対し無回答だったサンプルを含んでいないため、の集計値と異なる。
3%未満は表示しない

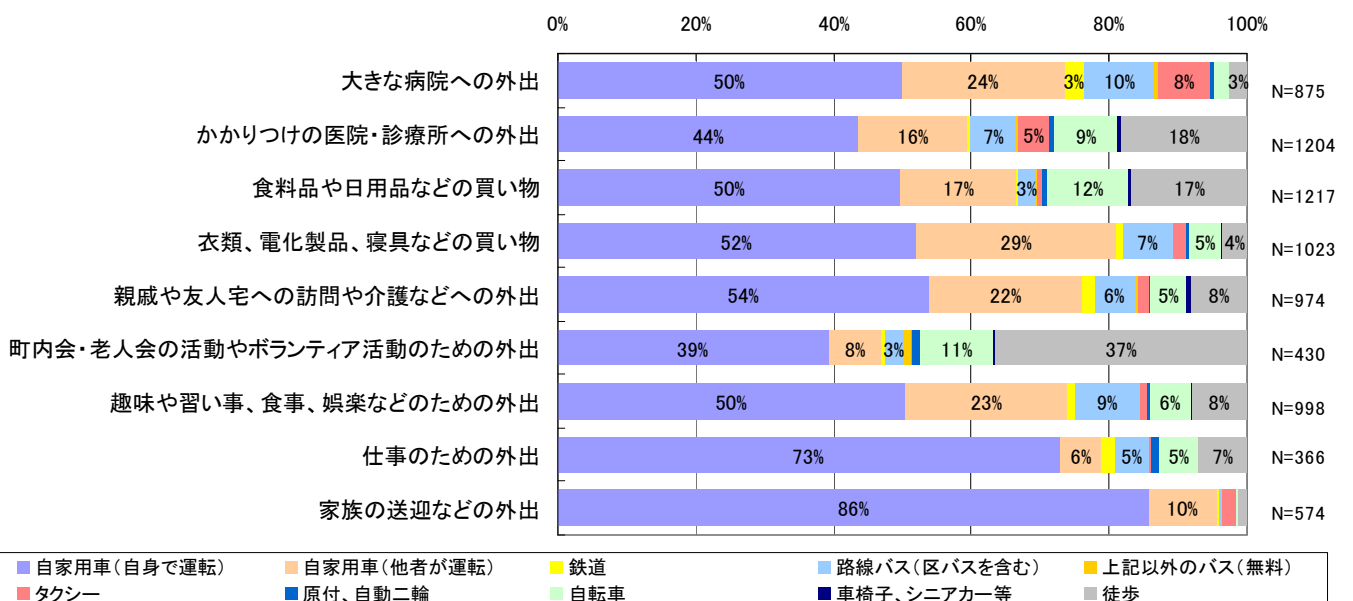
③ 外出時の同行者

- ・ 外出時の同行者について、目的別に見てみると「仕事のための外出」で「自分だけ」と回答した割合が84%と最も多くなっている。
- ・ 一方、「衣類、電化製品、寝具などの買い物」では「家族と」と回答した割合が64%と多くなっている。



④ 外出時の主な移動手段

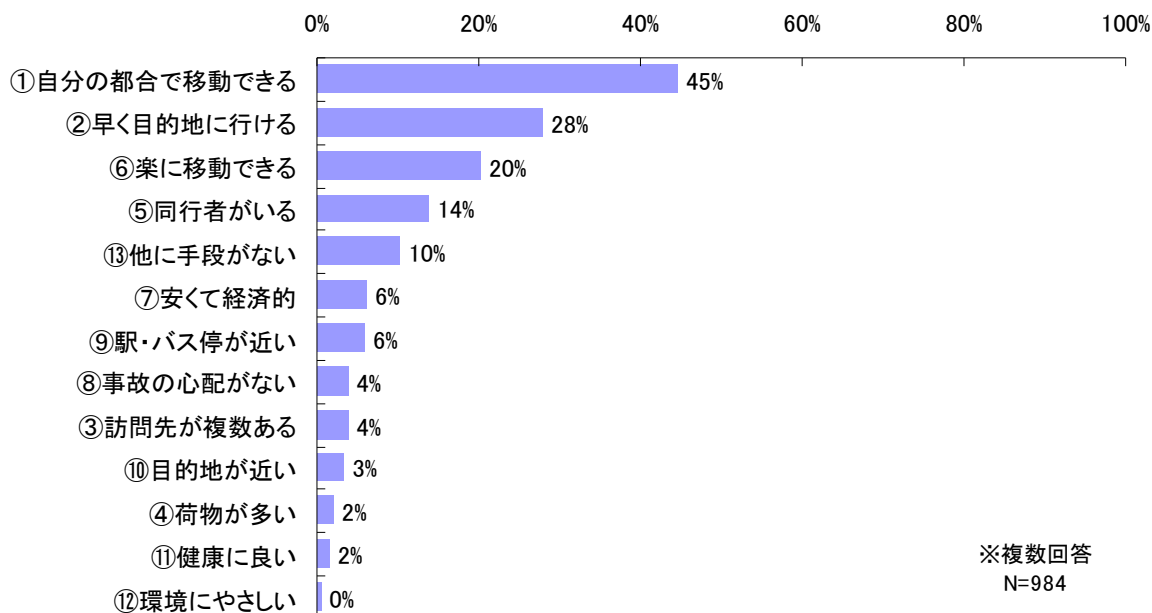
- ・ 外出時の主な移動手段について、目的別に見てみると、「自家用車（自身で運転）」と回答した割合が全体的に多く、特に「家族の送迎などの外出」では86%となっている。



⑤ 移動手段の選択理由

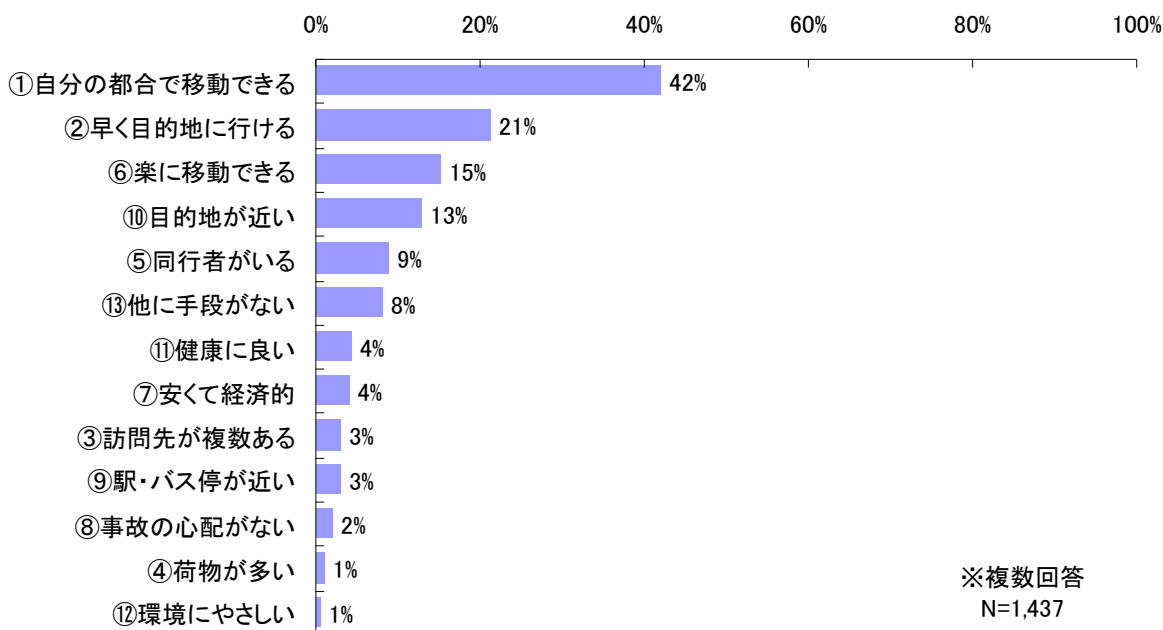
- ・ 移動手段の選択理由について、「1) 家族の送迎などの外出」を除く全ての目的で「①自分の都合で移動できる」と回答した割合が最も多くなっている。

A) 大きな病院（市民病院など）への外出



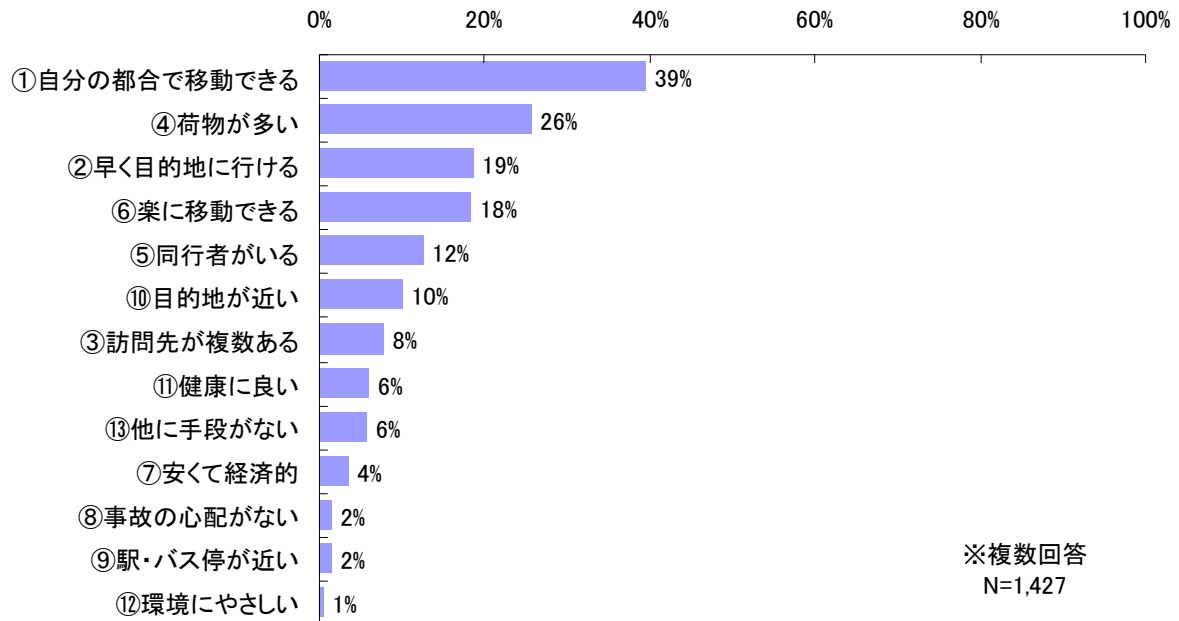
構成比は、一年を通した外出の有無の設問であると回答した人に対する回答数の割合

B) かかりつけの医院・診療所への外出



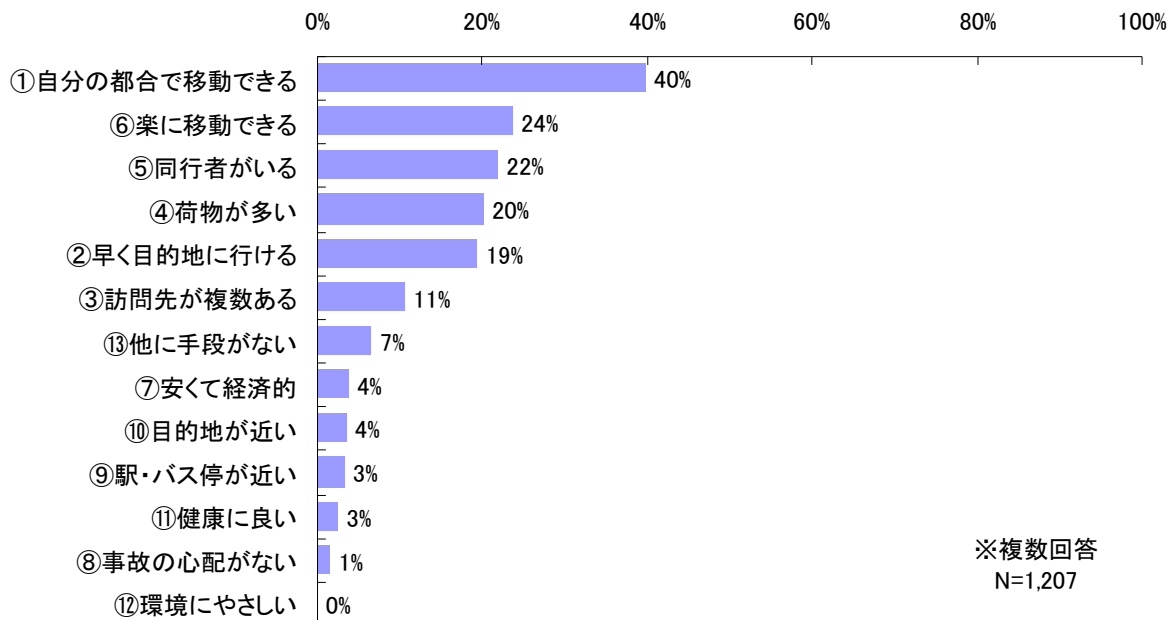
構成比は、一年を通した外出の有無の設問であると回答した人に対する回答数の割合

C) 食料品や日用品などの買い物



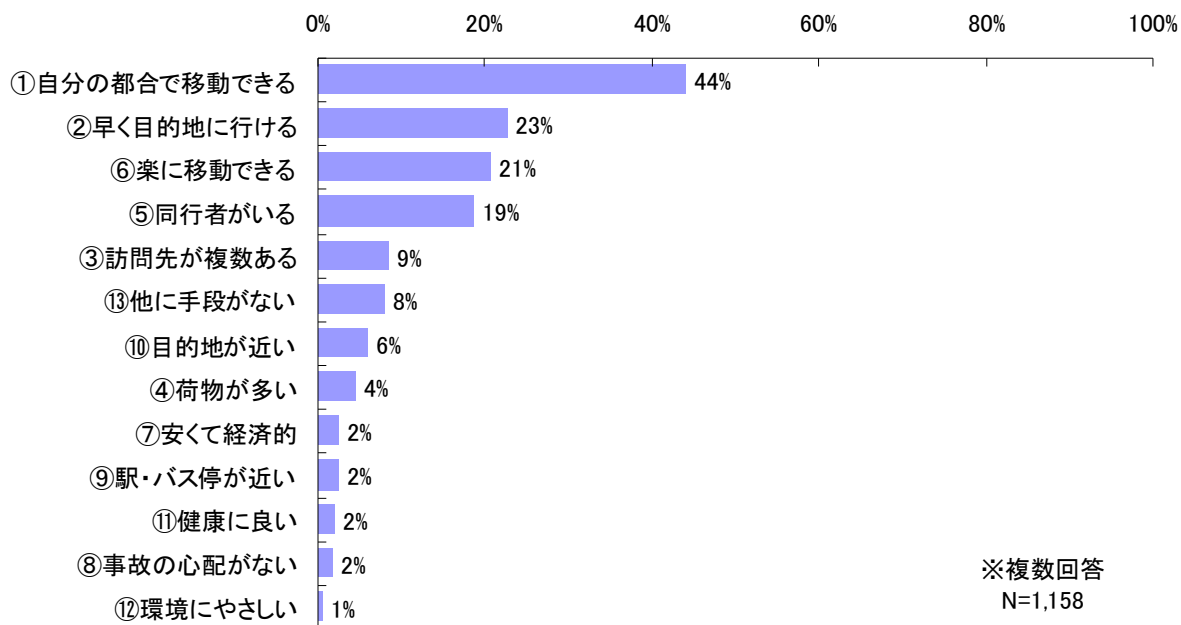
構成比は、一年を通した外出の有無の設問であると回答した人に対する回答数の割合

D) 衣類、電化製品、寝具などの買い物



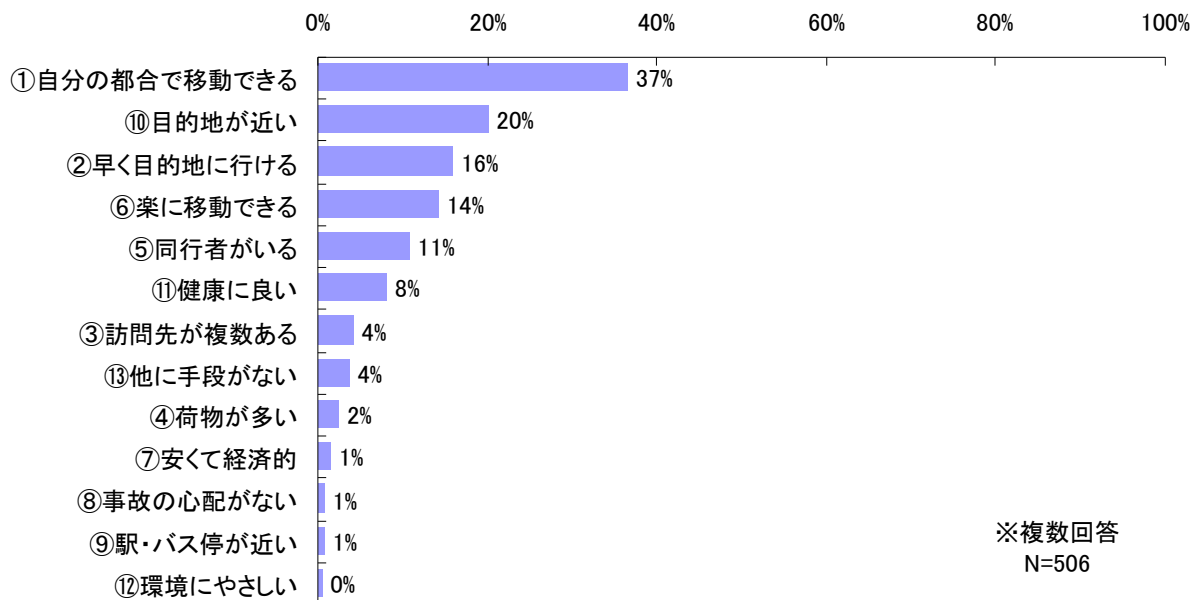
構成比は、一年を通した外出の有無の設問であると回答した人に対する回答数の割合

E) 親戚や友人宅への訪問や介護などへの外出



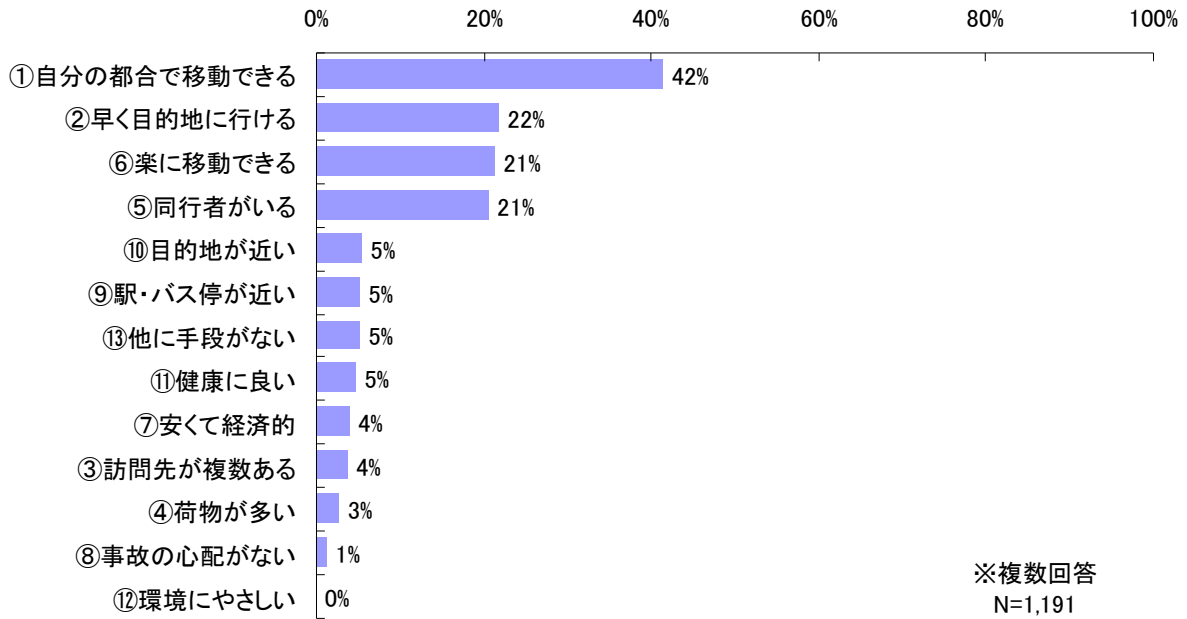
構成比は、一年を通した外出の有無の設問であると回答した人に対する回答数の割合

F) 町内会・老人会の活動やボランティア活動のための外出



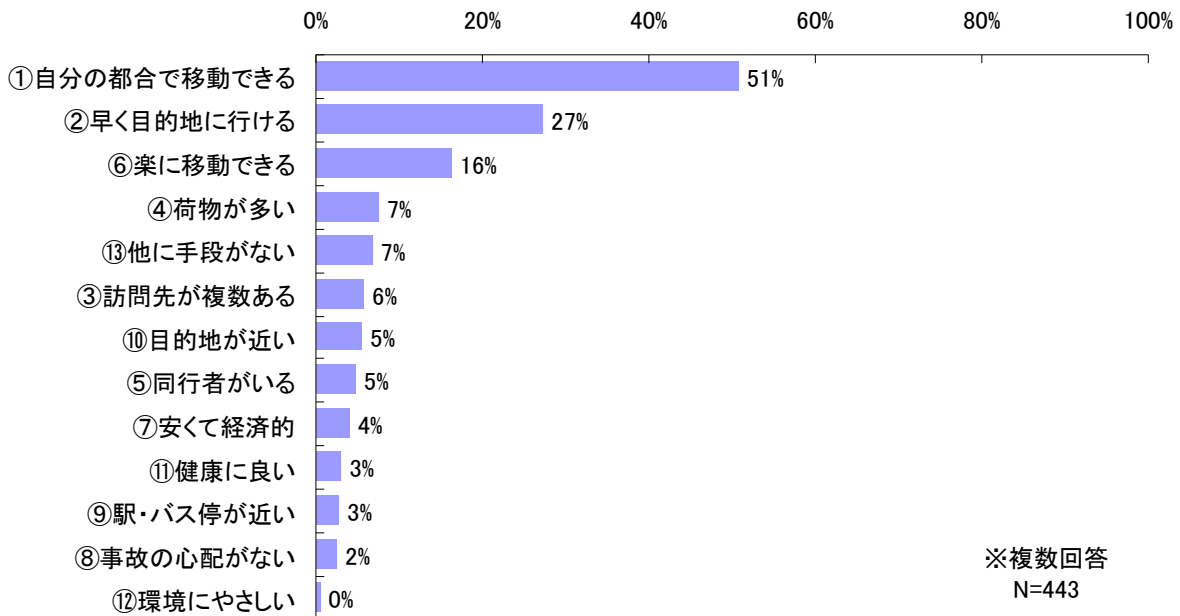
構成比は、一年を通した外出の有無の設問であると回答した人に対する回答数の割合

G) 趣味や習い事、食事、娯楽などのための外出



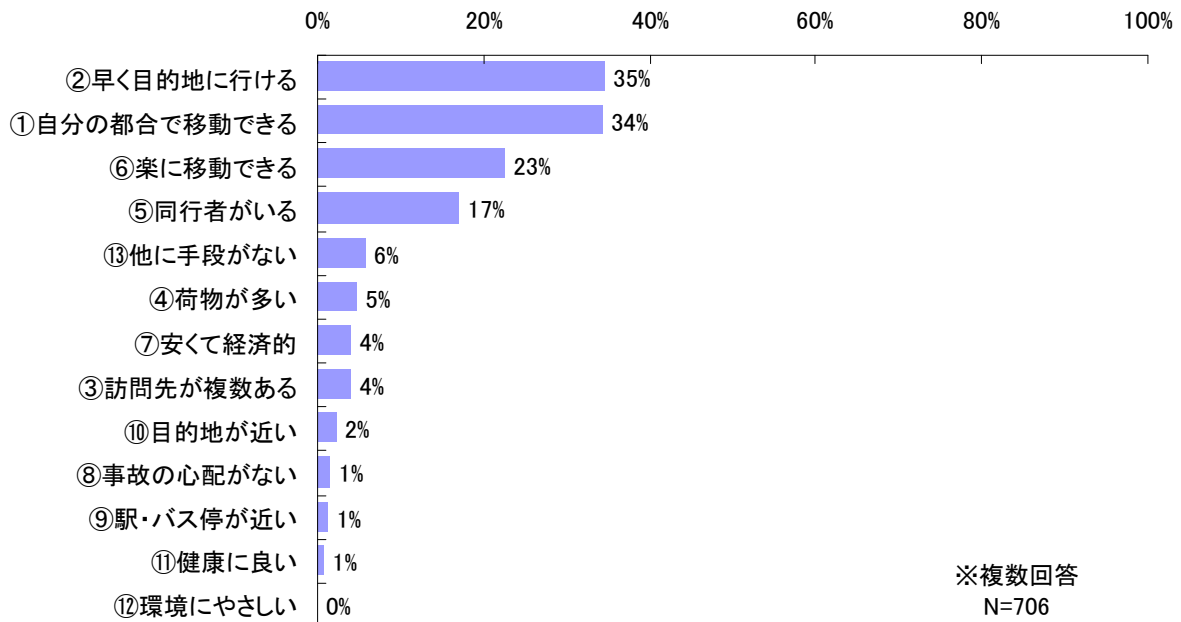
構成比は、一年を通した外出の有無の設問であると回答した人に対する回答数の割合

H) 仕事のための外出



構成比は、一年を通した外出の有無の設問であると回答した人に対する回答数の割合

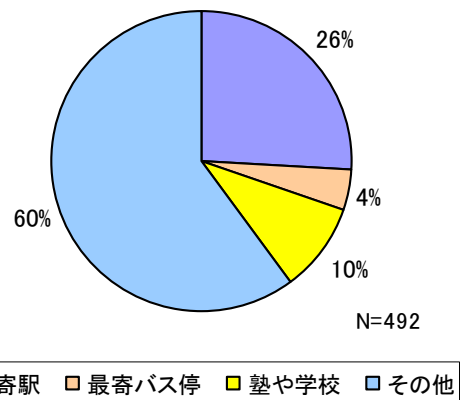
1) 家族の送迎などの外出



構成比は、一年を通した外出の有無の設問であると回答した人に対する回答数の割合

⑥ 主な行き先

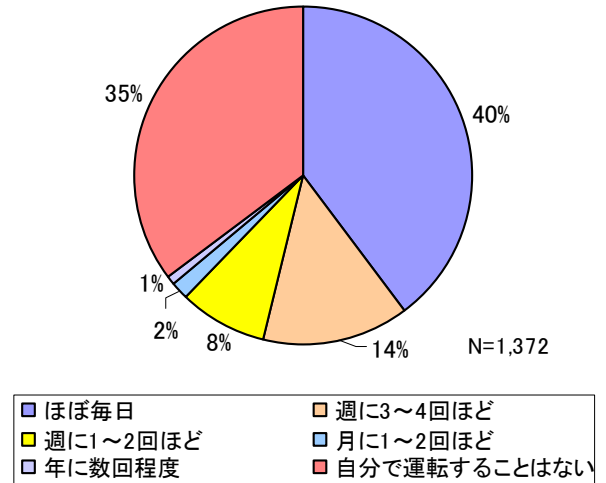
- ・家族の送迎などの主な行き先について、「最寄駅」と回答した割合が26%であった。



4) 自家用車のご利用について

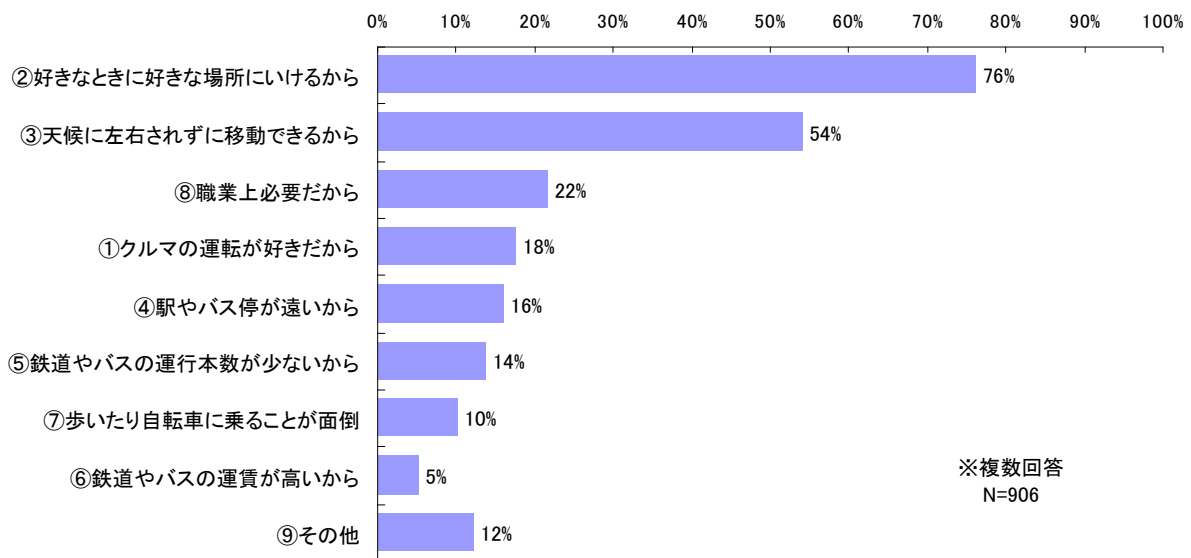
① 運転の頻度

- ・運転の頻度を見てみると、「ほぼ毎日」と回答した割合が40%であった。
- ・また、「週に1回以上」と回答した割合は65%であった。
- ・一方、「自分で運転することがない」と回答した割合は35%であった。



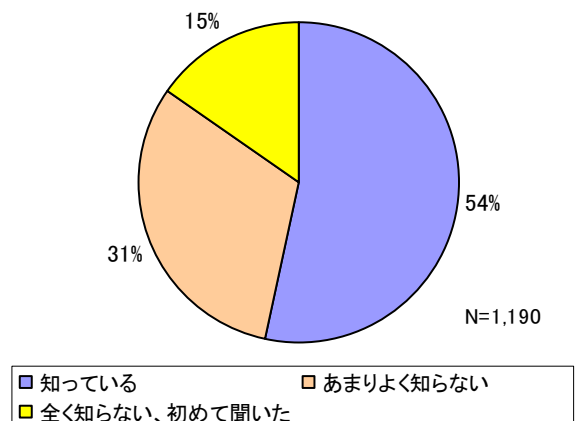
② 運転する理由

- ・運転する理由について、「②好きなときに好きな場所へ行けるから」と回答した割合が76%であった。
- ・次いで「③天候に左右されずに移動できるから」が54%であった。



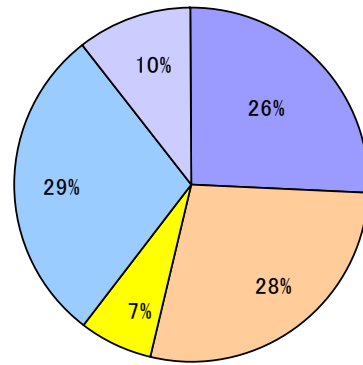
③ 免許返納サポート事業の認知度

- ・免許返納サポート事業の認知度を見てみると、「知っている」と回答した割合が半数以上であった。
- ・「全く知らない、初めて聞いた」と回答した割合が15%であった。

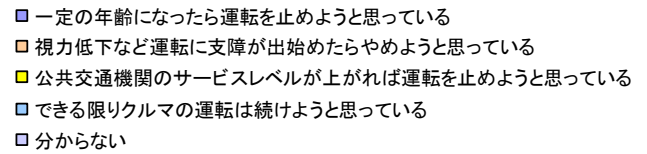


④ 今後の運転に関する意向

- ・今後の運転に関する意向をしてみると、「できる限りクルマの運転は続けたいと思っている」と回答した割合が 29%であった。
- ・一方、きっかけ（何らかの理由）があれば「運転をやめようと思っている」と回答した割合は約 60%であった。



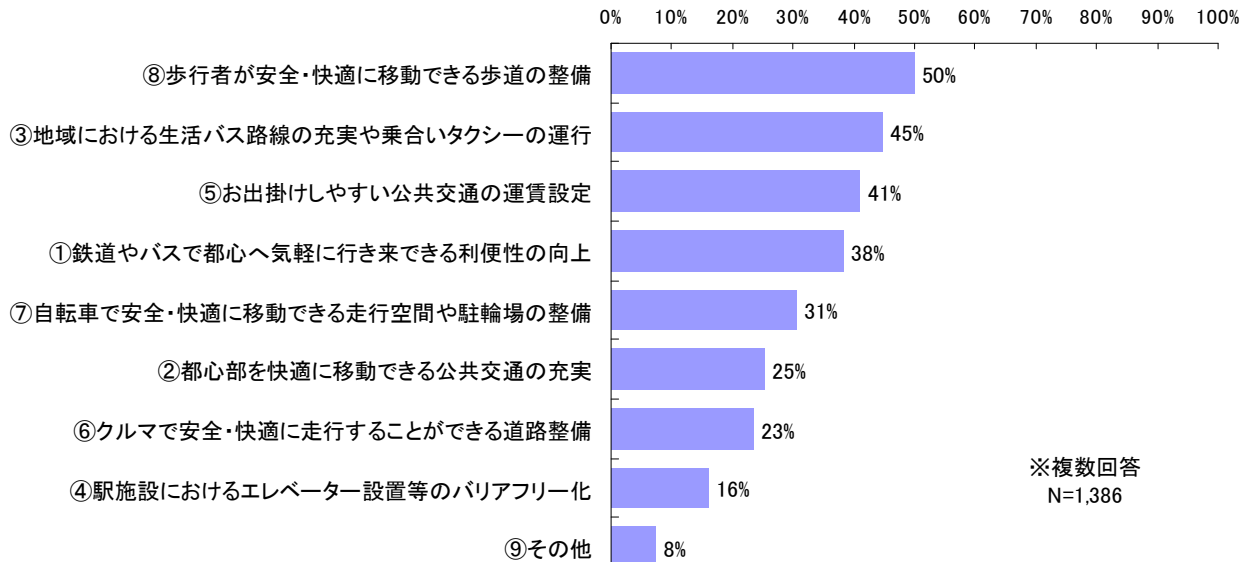
N=985



5) 交通政策に関する意向について

① 今後の高齢社会における交通政策として重要だと思うこと

- ・「⑧歩行者が安全・快適に移動できる歩道の整備」と回答した割合が 50%と最も多かった。
- ・次いで「③生活バス路線の充実や乗合いタクシーの運行」、「⑤お出掛けしやすい公共交通の運賃設定」、「①鉄道やバスで都心へ気軽に行き来できる利便性の向上」といった公共交通の充実が重要と回答した割合が多かった。

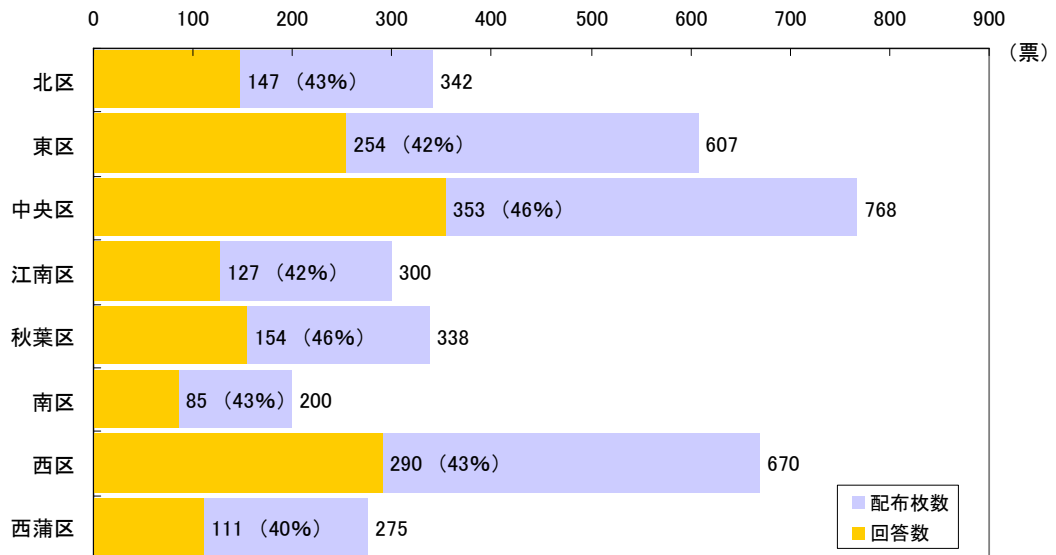


3 交通環境に関する意識調査

1) 調査結果概要

① 配布数と回収・回答率

・本調査は15歳以上を対象に3,500票配布し、回収率は全体で43.2%（1,513票）であった。

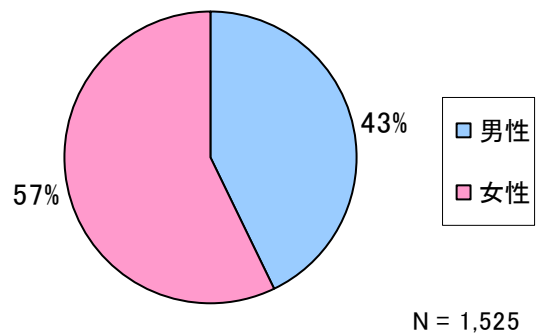
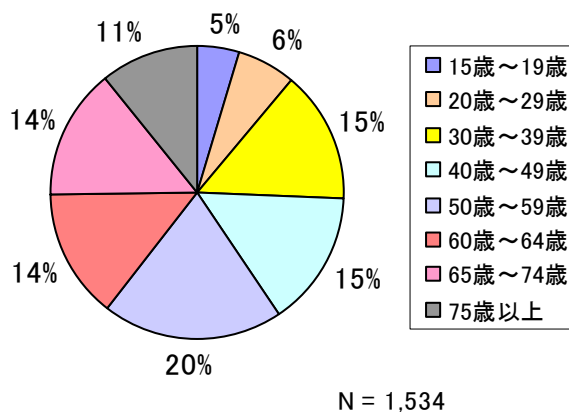


2) 回答者の属性

① 年齢・性別

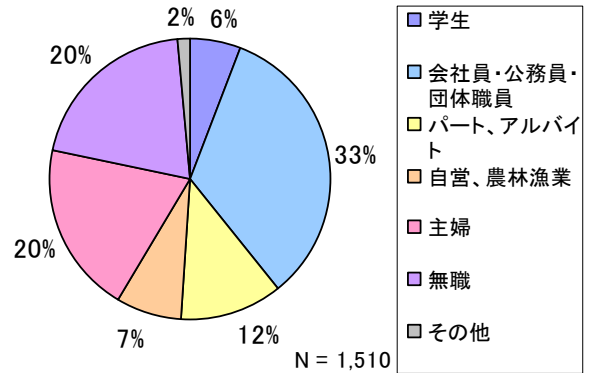
・年齢別で見ると、生産年齢人口にあたる15～64歳の回答者が75%、65歳以上の高齢者が25%であった。

・性別で見ると、回答者の約43%が男性、約57%が女性であった。



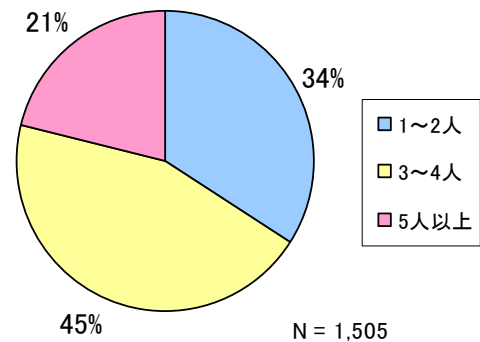
② 職業

- ・職業を見てみると、「会社員・公務員・団体職員」と回答した割合が33%と最も多く、次いで「主婦・無職」と回答した割合がいずれも20%であった。



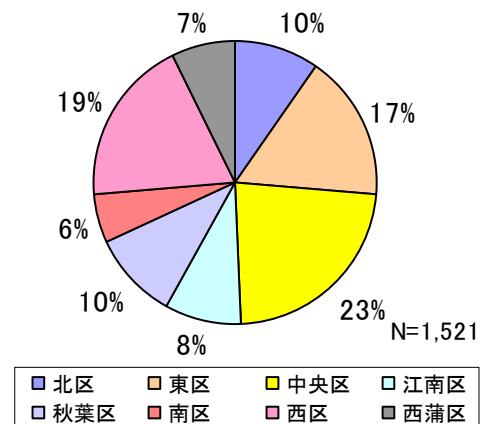
③ 世帯数

- ・世帯の人数を見てみると、「3~4人」と回答した割合が45%と最も多かった。



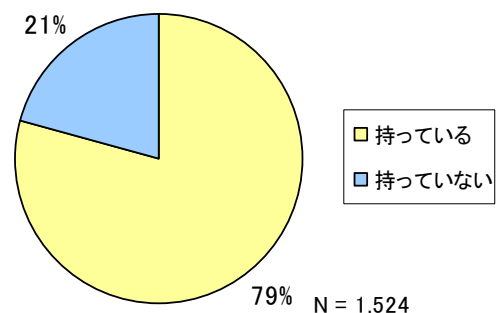
④ 居住地

- ・回答者の居住地は、中央区（23%）、西区（19%）、東区（17%）、北区（10%）、秋葉区（10%）、江南区（8%）、西蒲区（7%）、南区（6%）の順に多かった。



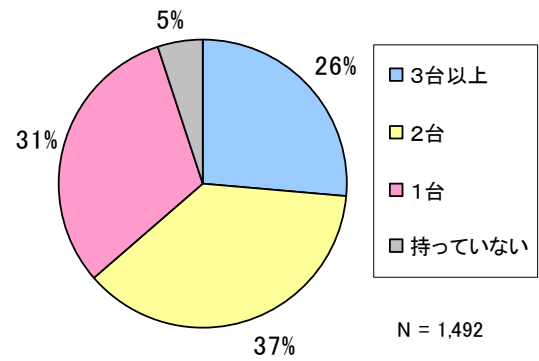
⑤ 運転免許の保有状況

- ・運転免許の保有状況を見てみると、「持っている」と回答した割合が79%であった。



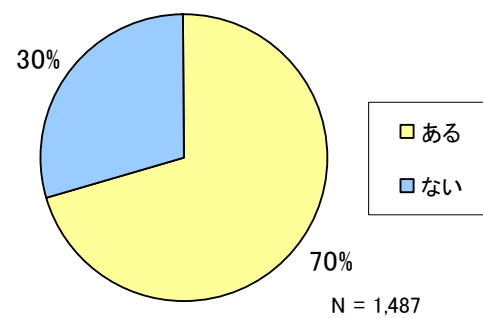
⑥ 自家用車の所有台数

- ・自家用車の所有台数を見てみると、「2台以上」と回答した割合が60%以上であった。



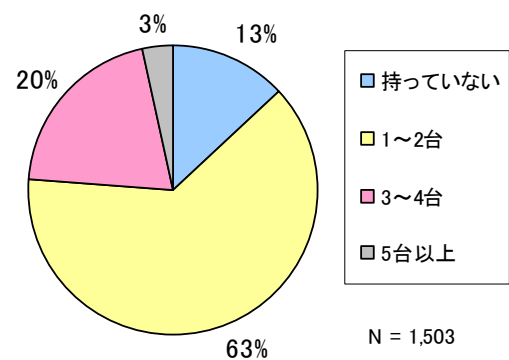
⑦ 専用の自家用車の有無

- ・専用の自家用車の有無を見てみると、「ある」と回答した割合が70%であった。



⑧ 自転車の所有台数

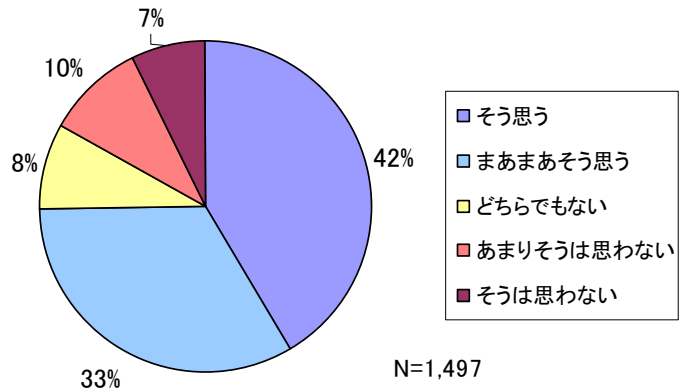
- ・自転車の所有台数を見てみると、「1~2台」と回答した割合が63%であった。
- ・一方、「持っていない」と回答した割合は13%であった。



3) 健幸都市づくりについて

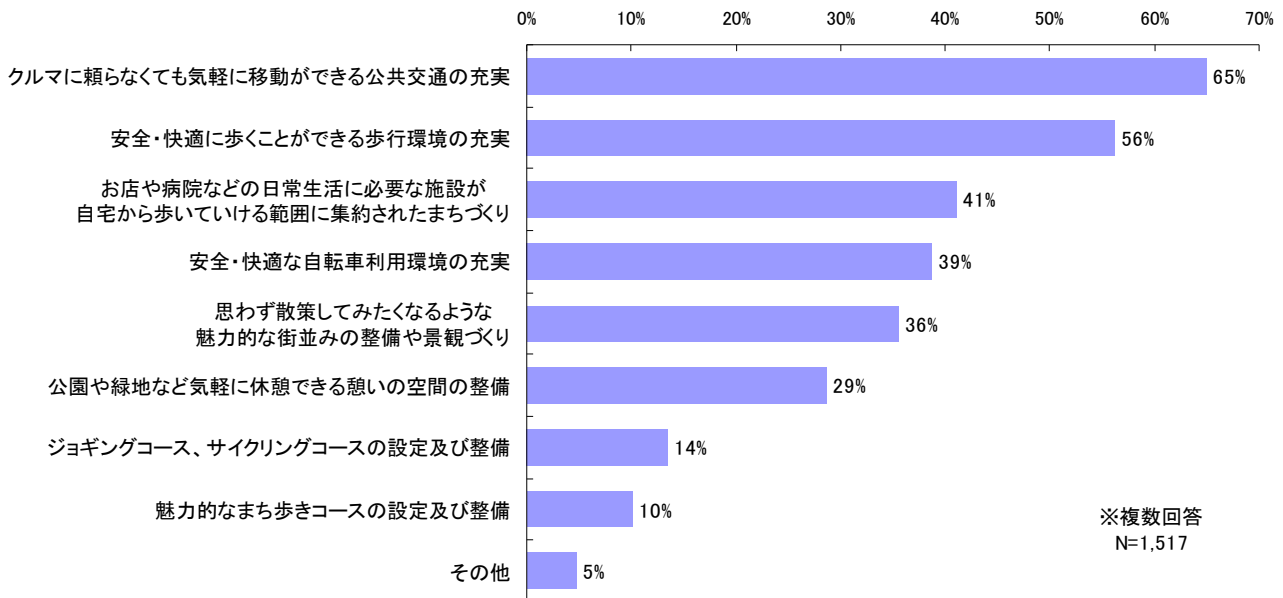
① 『健康に良い移動』を心掛けた徒歩や自転車、公共交通の利用意向

- ・「そう思う・まあまあそう思う」と回答した割合が75%と大半を占めている。
- ・一方、「そうは思わない」と回答した割合は7%であった。



② 健幸都市を実現するためにまちづくりとして取り組むべき項目

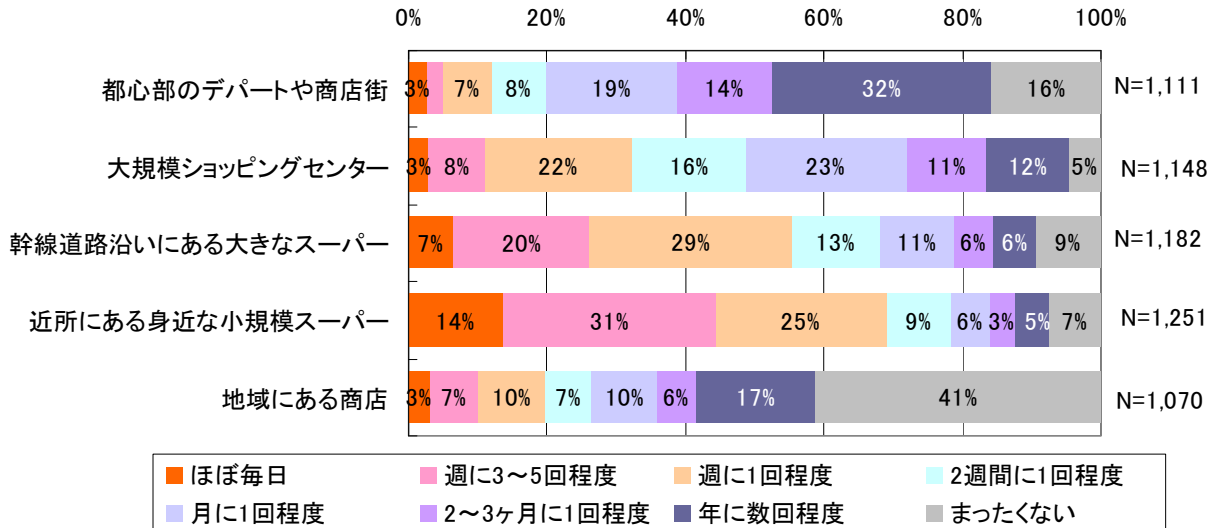
- ・「クルマに頼らなくても気軽に移動ができる公共交通の充実」と回答した割合が65%と最も多くなっている。
- ・次いで「安全・快適に歩くことができる歩行環境の充実」と回答した割合が多くなっている。



4) 普段の買い物行動について

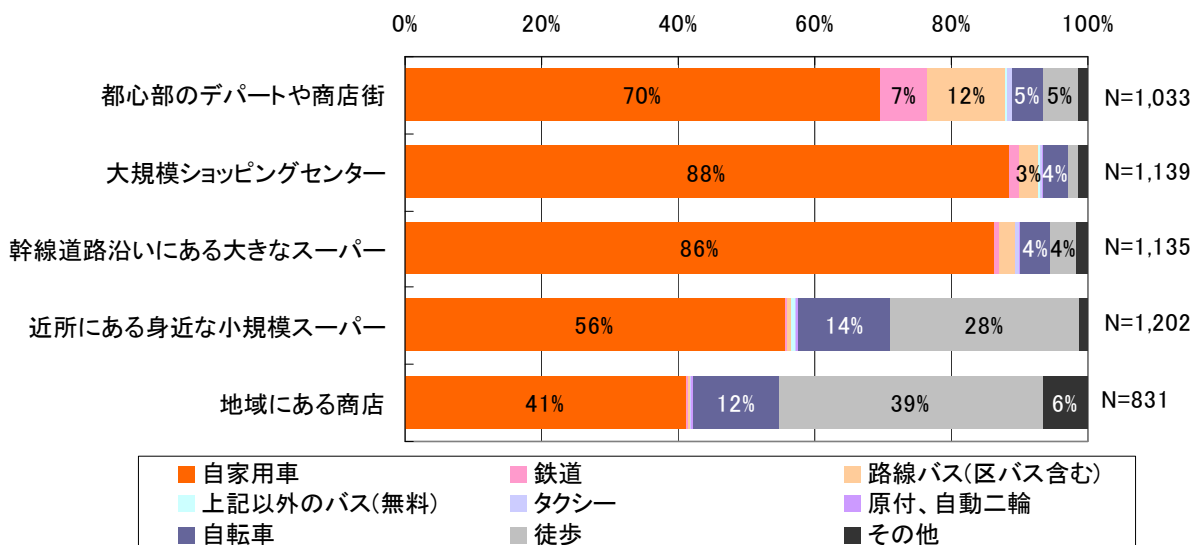
① 食料品など日常の買い物をする場合の頻度

- ・「近所にある身近な小規模スーパー」への頻度が最も多く、次いで「幹線道路沿いにある大きなスーパー」となっている。いずれの場合も「週に1回以上」の利用が半数以上を占めている。



② 食料品など日常の買い物をする場合の主な移動手段

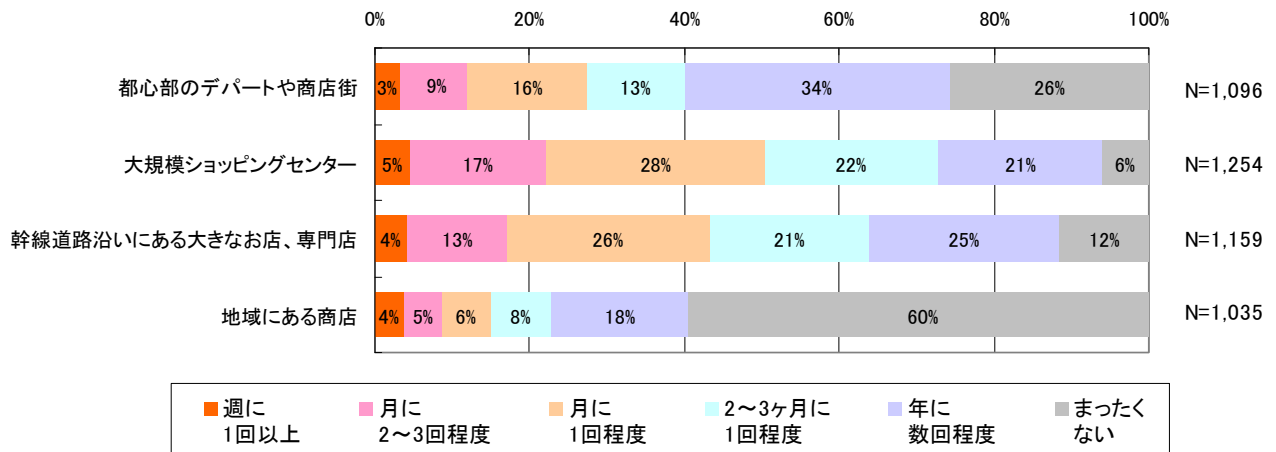
- ・「自家用車」と回答した割合が全体的に多くなっている。
- ・「地域にある商店」や「近所にある身近な小規模スーパー」への移動手段で「徒歩・自転車」と回答した割合が他と比べて多くなっている。



3%未満は表示しない

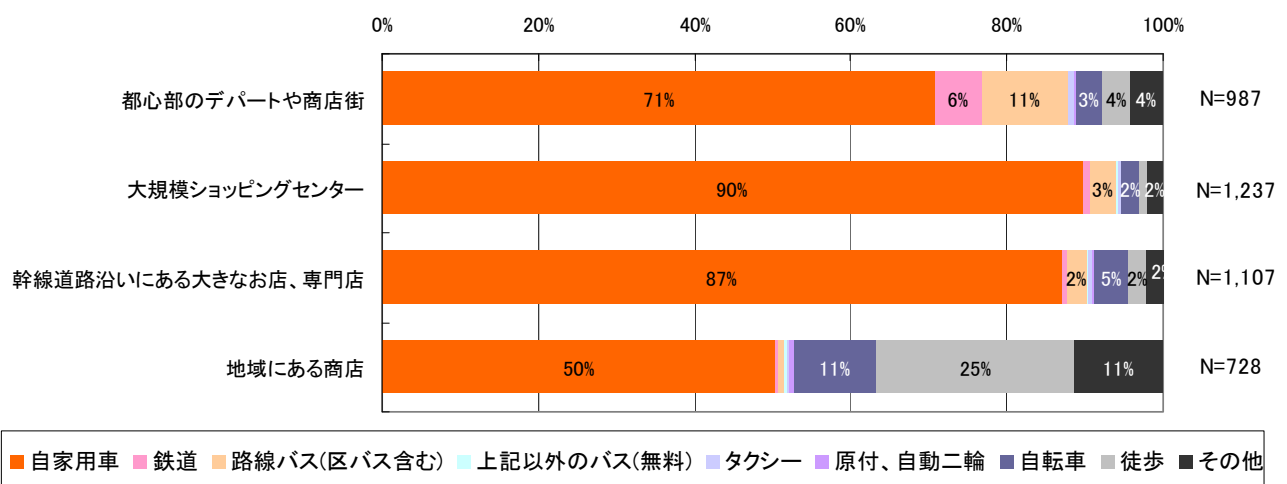
③ 衣類、電化製品、寝具などの買い物をする場合の頻度

- ・「大規模ショッピングセンター・幹線道路沿いにある大きなお店、専門店」へ「月に1回程度」と回答した割合が多くなっている。
- ・「都心部のデパートや商店街・地域にある商店」へは「年に数回程度・まったくない」と回答した割合が60%以上と多くなっている。



④ 衣類、電化製品、寝具などの買い物をする場合の「主な移動手段」

- ・「自家用車」と回答した割合が全体的に多くなっている。
- ・「地域にある商店」へは「徒歩・自転車」と回答した割合が約40%と多くなっている。

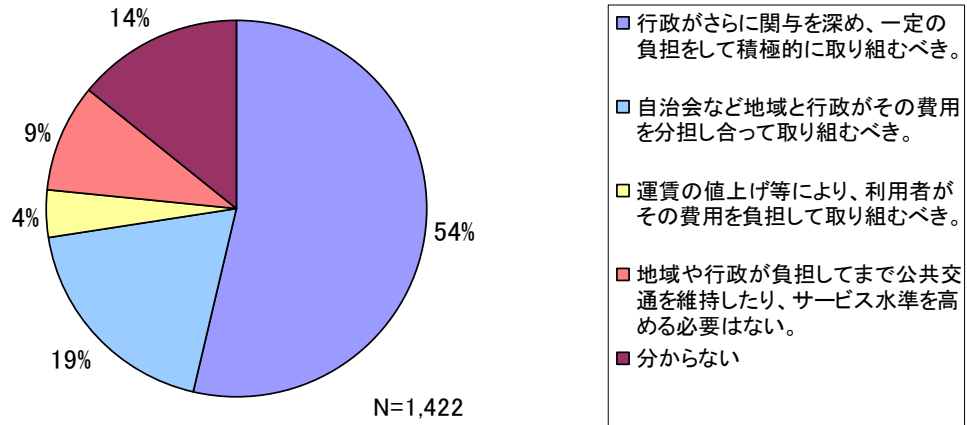


3%未満は表示しない

5) 公共交通の推進に関する意向について

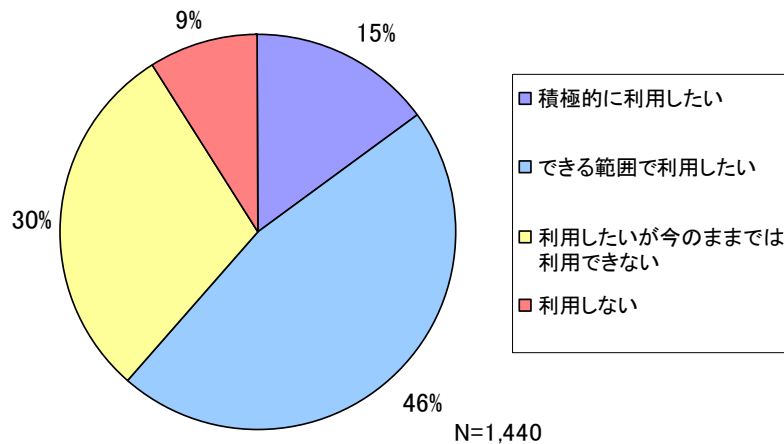
① 公共交通の維持・サービス水準（利便性）向上への意向

- ・「行政がさらに関与を深め、一定の負担をして積極的に取り組むべき」と回答した割合が最も多く、半数以上を占めている。
- ・一方、「運賃の値上げ等により、利用者がその費用を負担して取り組むべき」と回答した割合が最も少なく4%となっている。



② 公共交通維持・サービス向上に向けた公共交通の利用意向

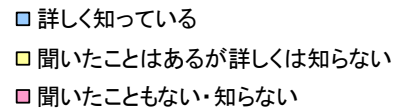
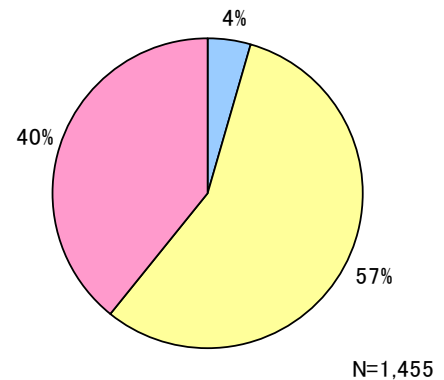
- ・「できる範囲で利用したい」と回答した割合が最も多く46%となっている。
- ・次いで「利用したいが今のままでは利用できない」と回答した割合が30%となっており、「利用したい」という意向を持った回答が90%程度となっている。



6) 新たな交通システムの導入について

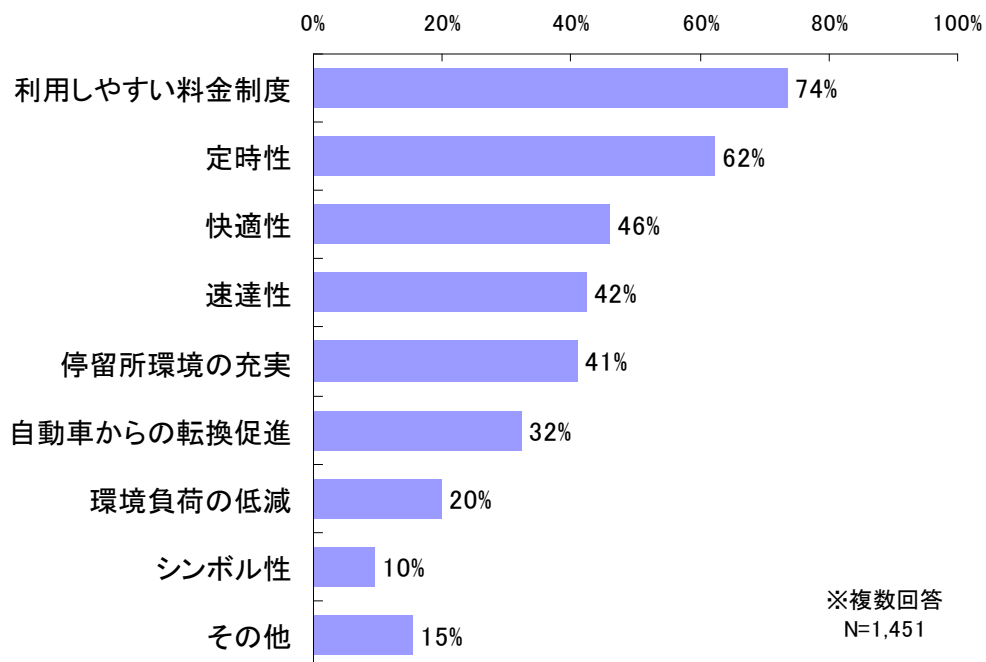
① 『新たな交通システム』の認知度

- ・「詳しく知っている」と回答した割合は 4%と少なかった。
- ・「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」と回答した割合が 57%と最も多くなっている。
- ・「聞いたこともない・知らない」と回答した割合は 40%と多くなっている。



② 新たな交通システムに求める項目

- ・「利用しやすい料金制度」と回答した割合が最も多くなっている。
- ・次いで「定時性」、「快適性」と回答した割合が多くなっている。
- ・一方、「シンボル性」と回答した割合は最も少なくなっている。



新潟市都市政策部都市交通政策課

TEL 025-226-2723 / Email kotsu@city.niigata.lg.jp